

平成25年度  
教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

平成26年10月  
倉敷市教育委員会

## はじめに

倉敷市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとしております。

本年度の点検及び評価は、「倉敷市教育振興基本計画（計画期間：平成24～32年度）」と、その計画を推進するために毎年度策定する「倉敷市教育行政重点施策」の事業（平成25年度の事業）を対象に行います。

教育委員会で実施した点検及び評価について、学識経験者の意見を付し、報告書として議会に提出・公表を行い、市民への説明責任を果たすとともに、信頼される教育行政を推進してまいります。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

|     |                                                       |    |
|-----|-------------------------------------------------------|----|
| 1   | 平成25年度教育委員会の活動状況                                      |    |
| (1) | 教育委員                                                  | 1  |
| (2) | 教育委員会議の開催状況                                           | 1  |
| (3) | 教育委員会議決案件                                             | 2  |
| (4) | 教育委員会議以外の活動状況                                         | 3  |
| 2   | 教育委員会における事務の点検・評価                                     |    |
| (1) | 倉敷市の施策体系について                                          | 5  |
| (2) | 点検評価の実施方法について                                         | 5  |
| (3) | 評価指標について                                              | 6  |
| (4) | 施策体系表                                                 | 7  |
| (5) | 重点施策の点検・評価                                            |    |
|     | テーマ1 子どもたちの学力について                                     | 9  |
|     | テーマ2 いじめ・不登校対策について                                    | 12 |
|     | テーマ3 学校・家庭・地域の連携について                                  | 15 |
| (6) | 基本施策の点検・評価                                            |    |
|     | 基本施策① その人らしさが尊重され、人権が守られる社会をつくる                       | 17 |
|     | 基本施策② 子どもが心豊かに成長できる学びの場をつくる                           | 20 |
|     | 基本施策③ 学校教育の充実を図る                                      | 28 |
|     | 基本施策④ 障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる<br>体制を整える             | 40 |
|     | 基本施策⑤ 市民の健全な食生活を推進する                                  | 44 |
|     | 基本施策⑥ 安心とゆとりをもって、楽しく子育てできる環境を整える                      | 46 |
|     | 基本施策⑦ 地域社会全体で子どもを守り育てる                                | 49 |
|     | 基本施策⑧ 学校、コミュニティ、家庭が連携し、子どもの健全育成を<br>推進する              | 52 |
|     | 基本施策⑨ 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる<br>機会を提供する           | 56 |
|     | 基本施策⑩ 一人一人が生涯を通して行う学習を支援するとともに、<br>生涯学習による地域の活性化を推進する | 59 |
|     | 基本施策⑪ くらしき文化、芸術活動を振興する                                | 66 |
|     | 基本施策⑫ くらしき文化の保存・継承と活用を図る                              | 69 |
|     | 基本施策⑬ 魅力的で、風格ある景観の形成を推進する                             | 72 |
| 3   | 教育費決算額                                                |    |
| (1) | 平成25年度教育費決算見込額内訳                                      | 74 |
| (2) | 教育費決算額の推移                                             | 74 |

## 1 平成25年度教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員（平成25年4月1日現在）

| 役職名      | 氏名    | 就任年月日     | 現任期                  |
|----------|-------|-----------|----------------------|
| 委員長      | 西原 孝雄 | 平成19年4月1日 | 平成23年4月1日～平成27年3月31日 |
| 委員長職務代理者 | 浅野 彰彦 | 平成19年4月1日 | 平成23年4月1日～平成27年3月31日 |
| 委員       | 竹内 京子 | 平成21年4月1日 | 平成25年4月1日～平成29年3月31日 |
| 委員       | 近藤 幸二 | 平成18年4月1日 | 平成22年4月1日～平成26年3月31日 |
| 教育長      | 井上 正義 | 平成25年4月1日 | 平成25年4月1日～平成29年3月31日 |

### (2) 教育委員会議の開催状況

| 月日   | 議案 | 協議案 | 報告 | その他 | 月日    | 議案  | 協議案 | 報告  | その他 |
|------|----|-----|----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|
| 4/4  | 0  | 0   | 3  | 3   | 10/24 | 10  | 0   | 4   | 1   |
| 4/19 | 5  | 0   | 1  | 4   | 11/8  | 9   | 0   | 2   | 2   |
| 5/17 | 9  | 1   | 5  | 0   | 11/28 | 2   | 0   | 4   | 2   |
| 6/6  | 4  | 0   | 3  | 0   | 12/18 | 0   | 1   | 3   | 1   |
| 6/27 | 1  | 1   | 2  | 3   | 1/20  | 6   | 0   | 5   | 2   |
| 7/16 | 3  | 0   | 3  | 1   | 2/12  | 4   | 0   | 1   | 2   |
| 8/8  | 5  | 0   | 1  | 2   | 3/12  | 2   | 0   | 4   | 1   |
| 9/5  | 1  | 2   | 2  | 0   | 3/27  | 12  | 0   | 1   | 3   |
| 9/27 | 1  | 1   | 1  | 3   |       |     |     |     |     |
|      |    |     |    | 計   | 17回   | 74件 | 6件  | 45件 | 30件 |

### (3) 教育委員会議決案件

|        |                                    |        |                                       |
|--------|------------------------------------|--------|---------------------------------------|
| 4月19日  | 倉敷市就学指導委員会委員の委嘱                    | 11月8日  | 倉敷市少年自然の家条例の改正案                       |
|        | 倉敷市奨学生選考委員会委員の委嘱                   |        | 倉敷市旧柚木家住宅条例の改正案                       |
|        | 倉敷市立学校児童生徒結核対策委員会委員の委嘱             |        | 倉敷市立美術館条例の改正案                         |
|        | 平成25年度倉敷市教育行政重点施策の策定               |        | 倉敷市立自然史博物館条例の改正案                      |
|        | 倉敷科学センター協議会委員の委嘱                   |        | 倉敷市公民館条例の改正案                          |
| 5月17日  | 倉敷市奨学生選考委員会委員の委嘱                   | 11月28日 | 倉敷市市民学習センター条例の改正案                     |
|        | 倉敷市立小、中学校学区審議会委員の委嘱                |        | 倉敷科学センター条例の改正案                        |
|        | 県費負担教職員の処分                         |        | 倉敷市学校施設使用条例の改正案                       |
|        | 県費負担教職員の行政措置                       |        | 倉敷市立自然史博物館協議会委員の委嘱                    |
|        | 倉敷市社会教育委員の委嘱                       |        | 平成25年度教育費12月補正予算要求                    |
|        | 倉敷市図書館協議会委員の委嘱                     | 1月20日  | 倉敷市立美術館協議会委員の委嘱                       |
|        | 倉敷市公民館等運営審議会委員の委嘱                  |        | 学校施設使用条例施行規則の改正                       |
|        | 倉敷市文化財保護審議会委員の委嘱                   |        | 倉敷市立幼稚園条例の改正案                         |
|        | 倉敷市伝統的建造物群等保存審議会委員の委嘱              |        | 倉敷市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱                |
| 6月6日   | 倉敷市教育委員会職務権限規程の改正                  | 2月12日  | 倉敷市立美術館条例施行規則の改正                      |
|        | 倉敷教育センター運営委員会委員の委嘱                 |        | 倉敷市公民館条例の改正案                          |
|        | 倉敷市立小、中学校学区審議会委員の委嘱                |        | 倉敷市公民館条例施行規則の改正                       |
|        | 平成25年度教育費6月補正予算要求                  |        | 倉敷市立高等学校条例の改正案                        |
| 6月27日  | 科学センター協議会委員の委嘱                     | 3月12日  | 平成25年度教育費2月補正予算要求                     |
| 7月16日  | 倉敷市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱             |        | 平成26年度教育費当初予算要求                       |
|        | 倉敷市指定重要有形民俗文化財の諮問（野崎家旧蔵錦蒔座蒲団）      |        | 平成25年度倉敷市教育委員会教育功労者表彰                 |
|        | 倉敷情報学習センター運営審議会委員の委嘱               | 3月27日  | 平成25年度末倉敷市立学校教職員人事異動の内申               |
| 8月8日   | 平成26年度使用教科用図書の採択                   |        | 倉敷市立図書館規則の改正                          |
|        | 倉敷市立小、中学校学区審議会委員の委嘱                | 3月27日  | 倉敷市教育委員会職員勤務評定規則等の一部を改正する規則の制定        |
|        | 倉敷市指定重要有形民俗文化財の指定（野崎家旧蔵錦蒔座蒲団）      |        | 倉敷市教育委員会職務権限規程の改正                     |
|        | 倉敷市教育委員会行政組織規則の改正                  |        | 倉敷市教育委員会の特殊な勤務に従事する職員の勤務時間等に関する規程の改正  |
|        | 倉敷市立学校園学期制のあり方                     |        | 倉敷市教育委員会の教育行政に関する相談に関する事務の処理に関する要綱の改正 |
| 9月5日   | 平成25年度教育費9月補正予算要求                  |        | 倉敷市青少年育成センター条例施行規則の改正について             |
| 9月27日  | 岡山県倉敷市立高等学校単位制教育に関する規則の改正          | 3月27日  | 平成25年度末倉敷市立高等学校教職員人事異動の内申             |
| 10月24日 | 平成24年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書 |        | 倉敷市学校管理規則の改正                          |
|        | 平成25年度末校長・教員等人事異動方針                |        | 岡山県倉敷市立倉敷支援学校学則の改正                    |
|        | 倉敷市立学校児童生徒結核対策委員会委員の委嘱             |        | 倉敷市立幼稚園園則の改正                          |
|        | 平成25年度就学援助給付申請の不認定処分に対する審査請求に係る裁決  |        | 市職員の人事異動                              |
|        | 指定管理者の指定（倉敷歴史民俗資料館）                |        | 倉敷市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の改正       |
|        | 指定管理者の指定（倉敷福田歴史民俗資料館）              |        | 県費負担教職員の行政措置                          |
|        | 指定管理者の指定（倉敷市柚木家住宅）                 |        |                                       |
|        | 指定管理者の指定（倉敷市磯崎眠亀記念館）               |        |                                       |
|        | 指定管理者の指定（倉敷市まきび記念館）                |        |                                       |
|        | 指定管理者の指定（倉敷市真備ふるさと歴史館）             |        |                                       |

#### (4) 教育委員会議以外の活動状況

##### ○市議会への出席

| 月          | 日 数 | 月        | 日 数 |
|------------|-----|----------|-----|
| 6 月定例市議会   | 6   | 1 月臨時市議会 | 1   |
| 9 月定例市議会   | 6   | 2 月定例市議会 | 9   |
| 1 2 月定例市議会 | 6   |          |     |

##### ○学校訪問等

| 月     | 内 容                                           |
|-------|-----------------------------------------------|
| 5 月   | 学校計画訪問（乙島東小学校）                                |
| 6 月   | 学校計画訪問（福田中学校，味野中学校）<br>琴浦南小学校創立 3 0 周年記念式典    |
| 7 月   | 学校計画訪問（連島中学校）                                 |
| 9 月   | 琴浦北小学校 1 4 0 周年記念式典                           |
| 1 0 月 | あいさつ運動（玉島北中学校，下津井中学校，新田中学校）<br>研究発表会（第一福田幼稚園） |
| 1 1 月 | 研究発表会（連島西浦小学校，東中学校，市立工業高校）<br>管内視察（粒江小学校）     |
| 3 月   | 小学校，中学校，高等学校卒業式                               |

##### ○総会・研修会

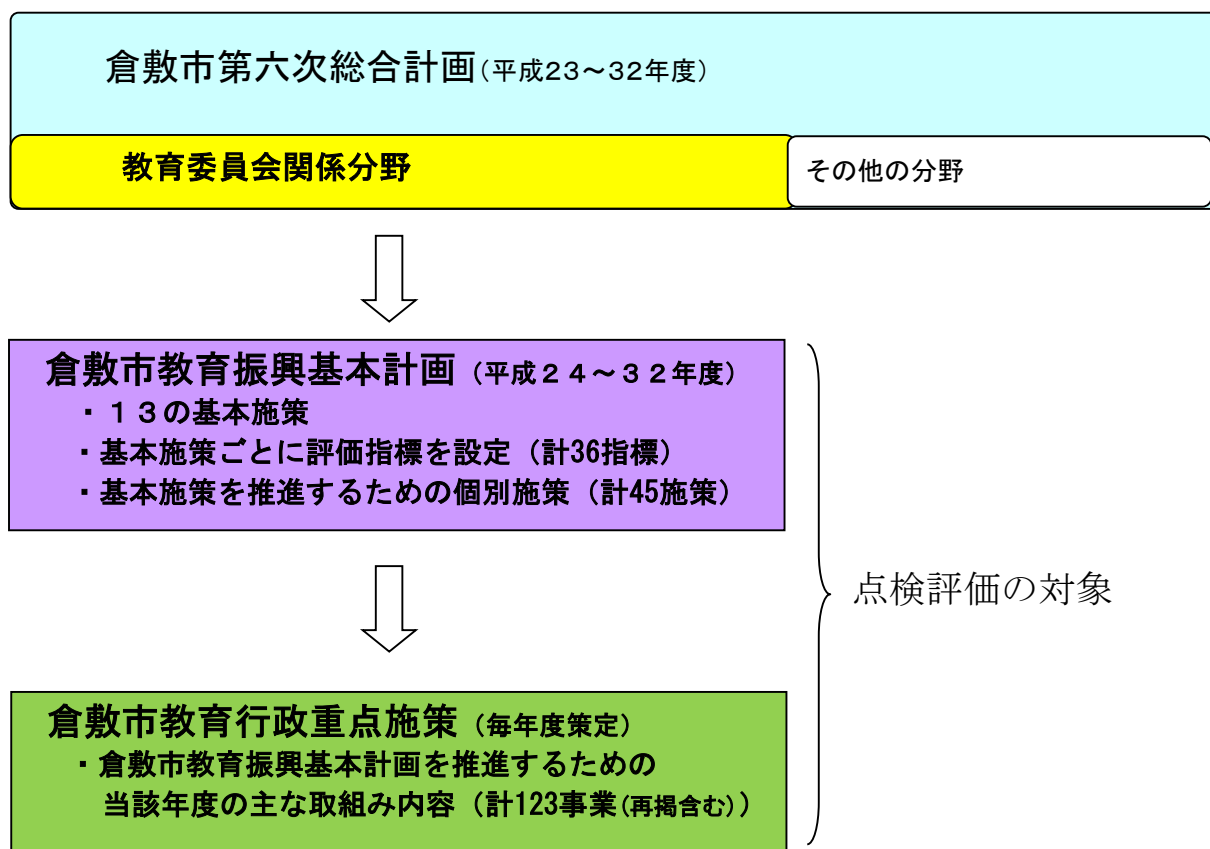
| 月     | 内 容                                                       |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 4 月   | 全国市町村教育委員会連合会第 1 回理事会                                     |
| 5 月   | 市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会                                       |
| 7 月   | 岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会<br>中国地区市町村教育委員会連合会理事会・総会<br>県教委との意見交換会 |
| 8 月   | 中国 5 県町村教育長会研究大会                                          |
| 1 1 月 | 岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会                                       |
| 2 月   | 岡山県教育問題懇談会（県・県連共催）                                        |

○その他

| 月    | 内 容                                  |
|------|--------------------------------------|
| 4 月  | 2 月定例市議会質問及び答弁についての勉強会               |
| 6 月  | 6 月定例市議会質問及び答弁についての勉強会               |
| 8 月  | 倉敷国際少年野球大会開会式・閉会式                    |
| 10 月 | 9 月定例市議会質問及び答弁についての勉強会               |
|      | 倉敷市戦没者追悼式典                           |
|      | 岡山県教育塔合祀慰霊祭                          |
|      | 北栄町視察対応                              |
|      | 市議会へ教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を提出 |
| 1 月  | 12 月定例市議会質問及び答弁についての勉強会              |
|      | 倉敷市成人式                               |
| 2 月  | 倉敷市こどもまつり                            |
|      | 第22回野崎教育賞表彰式                         |
| 3 月  | 教育功労者表彰式                             |
|      | 教育功労者感謝状贈呈式                          |

## 2 教育委員会における事務の点検・評価

### (1) 倉敷市の施策体系について



### (2) 点検評価の実施方法について

#### ① 評価指標の分析

倉敷市教育振興基本計画の評価指標や、点検評価のために新たに設定した評価指標など、合計43の評価指標について、平成25年度の状況が当初の基準値や前年度の値と比べてどうなったか分析を行う。

#### ② 実施事業について検証

平成25年度に行った123の主要事業（再掲含む）について、当該事業の目的・主な実績・今後の方向性について検証する。

#### ③ 課題と今後の取組み事項の検討

13の基本施策ごとに、現状の課題を挙げ、その課題に対する今後の取組み方針を明らかにする。

④ 学識経験者による意見

3つの重点施策及び13の基本施策ごとに、専門的かつ広い観点からの知見を期して、次の3名の学識経験者の方からご意見をいただいた。

| 氏名     | 団体・役職名                                       |
|--------|----------------------------------------------|
| 尾崎 聡   | 岡山学院大学・岡山短期大学教授<br>(倉敷市社会教育委員・倉敷市文化財保護審議会委員) |
| 門野 八洲雄 | 日本教育公務員弘済会岡山支部長<br>(前岡山県教育委員会教育長)            |
| 八重樫 牧子 | 川崎医療福祉大学非常勤講師<br>(倉敷市子ども・子育て支援審議会会長)         |

(3) 評価指標について

点検評価で分析を行う評価指標は下記4種類に分類される。

- 倉敷市教育振興基本計画評価指標（総合計画 指標）  
振興計画，総合計画の両方に掲載した指標。

- 倉敷市教育振興基本計画評価指標  
振興計画にのみ掲載した指標。教育委員会が独自に設定したもの。

- 評価指標（総合計画 指標）  
総合計画にのみ掲載した指標。振興計画の指標ではないが，点検・評価を行う上で関連のある指標として，総合計画から取り込んだもの。

- 評価指標  
振興計画，総合計画いずれの指標でもないが，点検・評価を行う上で関連のある指標として，教育委員会が独自に設定したもの。

※総合計画・・・倉敷市第六次総合計画

※振興計画・・・倉敷市教育振興基本計画

#### (4) 施策体系表

| めざすまちの姿<br>(第六次総合計画)                                                                                                                            | 基本目標<br>(教育振興基本計画)           | 基本施策<br>(教育振興基本計画)               | 個別施策                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| だれもがその人らしさ（個性）を尊重され、幸せに暮らしていくことができる                                                                                                             | Ⅰ 人間尊重の精神を基盤とする人権教育を総合的に推進する | ①その人らしさが尊重され、人権が守られる社会をつくる       | ①－１ 学校園における人権教育の推進                   |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ①－２ 地域社会における人権教育の推進                  |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ①－３ 啓発活動の充実と学習機会の提供                  |
| <p>人の痛みを、実感として子どもたちがわかっている</p> <p>教員の資質が保たれるなど、学校教育が充実している</p> <p>障がいの有無にかかわらず、等しく教育・保育を受けることができる</p> <p>豊かな自然の恵みにより食べ物がおいしく、健全な食生活が実現されている</p> | Ⅱ 豊かな個性と創造力を伸ばす学校教育を推進する     | ②子どもが心豊かに成長できる学びの場をつくる           | ②－１ 人権教育、道徳教育の推進                     |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ②－２ ボランティア教育、特別活動の充実                 |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ②－３ 校種間連携の推進と学校問題の解決                 |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ②－４ いじめ・不登校対策の充実（重点）                 |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ②－５ 相談・指導体制の整備                       |
|                                                                                                                                                 |                              | ③学校教育の充実を図る                      | ③－１ 教育要領・学習指導要領のねらいの具体化と確かな学力の向上（重点） |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－２ 進路指導、キャリア教育の充実                   |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－３ 時代の進展に対応する教育の推進                  |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－４ 人権教育、道徳教育の推進（再掲）                 |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－５ 幼稚園教育の推進                         |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－６ 校種間連携の推進と学校問題の解決（再掲）             |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－７ 開かれた、信頼される学校園づくり                 |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－８ 教職員の資質・指導力の向上                    |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－９ 子どもの健康管理・安全管理体制の充実               |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－１０ 防災教育の推進                         |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ③－１１ 安全・安心な教育施設の提供と教育環境の充実           |
|                                                                                                                                                 |                              | ④障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる体制を整える | ④－１ 支援体制の確立と個に応じた支援の充実               |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ④－２ 適切な就学指導・就学相談の充実                  |
|                                                                                                                                                 |                              |                                  | ④－３ 関係機関や団体などとの連携                    |
|                                                                                                                                                 |                              | ⑤市民の健全な食生活を推進する                  | ⑤－１ 食に関する指導・啓発                       |

| めざすまちの姿<br>(第六次総合計画)                                                                                                                                  | 基本目標                         | 基本施策<br>(第六次総合計画)                             | 個別施策 (太字は重点施策)                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <p>安心とゆとりをもって子育てを楽しんでいる</p> <p>地域がつながり、助け合い、互いの信頼関係の中で、子どもたちを守っている</p> <p>学校、コミュニティ、家庭が連携して、子どもが学び、成長できる環境となっている</p> <p>子どもたちが自然にふれながら、健康やかに育っている</p> | Ⅲ 学校、家庭、地域と連携しながら子育てを支援する    | ⑥ 安心とゆとりをもって、楽しく子育てできる環境を整える                  | ⑥-1 子育てに関する情報提供や相談体制の充実                   |
|                                                                                                                                                       |                              | ⑦ 地域社会全体で子どもを守り育てる                            | ⑦-1 次世代をはぐくむ地域の教育力の向上                     |
|                                                                                                                                                       |                              | ⑧ 学校、コミュニティ、家庭が連携し、子どもの健全育成を推進する              | ⑧-1 <b>効果的な学校支援活動による地域と学校の一体感の醸成 (重点)</b> |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑧-2 青少年の健全育成施策の推進                         |
|                                                                                                                                                       | Ⅳ 生涯を通じて学ぶことの出来る生涯学習社会の実現を図る | ⑩ 一人一人が生涯を通して行う学習を支援するとともに、生涯学習による地域の活性化を推進する | ⑨-1 自然体験活動の機会の充実                          |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑨-2 自然とふれあう施設の充実                          |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-1 学習意欲向上に向けての意識啓発と情報提供                  |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-2 それぞれの学習意欲に対応できる多様な学習機会の提供             |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-3 それぞれの学習の拠点となる生涯学習施設の機能充実              |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-4 喜びや充実感を感じる生涯学習の仕組みの構築                 |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-5 それぞれの学習成果を地域で活かせる環境の整備                |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-6 地域でともに生きるための学習の推進                     |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-7 次世代をはぐくむ地域の教育力の向上 (再掲)                |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑩-8 多様な主体と連携した生涯学習の推進                     |
| <p>生活の中に個性的で魅力的な文化が息づいている</p> <p>世代を超えて受け継がれてきたくらしき文化が大切に継承され、輝いている</p> <p>美観地区などの歴史的な景観が保全されるとともに、まち全体としても魅力的な景観を有している</p>                           | Ⅴ くらしき文化の保存と活用を図る            | ⑪ くらしき文化、芸術活動を振興する                            | ⑪-1 内外の優れた美術品にふれる機会の提供                    |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑪-2 市民が楽しみながら芸術活動を行える機会や場所の提供             |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑪-3 美術館に関する情報の発信                          |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑪-4 施設の整備と機能の充実                           |
|                                                                                                                                                       |                              | ⑫ くらしき文化の保存・継承と活用を図る                          | ⑫-1 文化財の適切な保存と活用、継承                       |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑫-2 文化財に親しむ機会の充実                          |
|                                                                                                                                                       |                              | ⑬ 魅力的で、風格ある景観の形成を推進する                         | ⑬-1 伝統的建造物群保存地区の景観保全                      |
|                                                                                                                                                       |                              |                                               | ⑬-2 地区の特性を活かした歴史的景観の維持向上                  |

(5) 重点施策の点検・評価

# テーマ1 子どもたちの学力について

**重点施策** 教育要領・学習指導要領のねらいの具体化と  
確かな学力の向上(施策③－1)

目標：学力調査において

平均正答率が県平均水準を上回ることをめざします

目標の進捗状況

| 評価指標                                                                                                                                                | 目指す方向性 | 基準値                                                                                                                                                                                                        | 実績値    | 実績値    | 基準値からの傾向 | H24からの傾向 | 目標値  |       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|----------|----------|------|-------|
|                                                                                                                                                     |        | H22                                                                                                                                                                                                        | H24    | H25    |          |          | H27  | H32   |
| 岡山県学力・学習状況調査の県平均正答率との差                                                                                                                              | ➡      | -0.8 %                                                                                                                                                                                                     | -0.7 % | -0.7 % | ➡        | ➡        | ±0 % | +0.4% |
| 算出方法<br>(倉敷市の4教科の平均正答率)－(県の4教科の平均正答率)<br>※指標数値は、翌年4月実施の岡山県学力・学習状況調査の結果である。<br>基準値H22・H23.4実施の調査結果<br>実績値H24・H25.4        "<br>実績値H25・H26.4        " | 分析     | <p>●実績値は、基準年に比べ、0.1ポイント上がり、前年度に比べ、変わっていない。</p> <p>●県平均正答率との差は昨年度と変わっていないが、漢字等の文字に関する力や基礎的な計算力は身につけてきている。</p> <p>●基礎・基本のより確実な定着を図る指導方法の工夫が大切である。また、基礎・基本の定着を図りながら、その力をどのように活用問題を解く力につなげていくかということも課題である。</p> |        |        |          |          |      |       |

## 施策を推進する主な事業

○学力向上支援事業

○授業力アップ支援事業

○教育用デジタルコンテンツ整備事業

○【新】学校園支援ボランティア活用事業

○【新】少人数指導による「確かな学力」向上支援事業



少人数指導でしっかりと向き合う授業

○【新】放課後学習サポート事業



放課後プリント学習

## 施策を推進する主な事業の評価

| 区分 | 事業名                          | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
| 重  | 学力向上支援事業                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上支援ソフト(※)の活用、学習支援員(※)の配置等により、児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図ることを目的に実施した。</li> <li>●学習支援ソフトについては、研修会の開催により活用を促進し、年間で市内の学校からの総アクセス数が245,514回あった。また、学力向上支援員を、小学校42校、中学校8校に配置した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> <p>※学力向上支援ソフト:国語・算数(数学)・社会・理科・英語の基礎問題・活用問題を多数収録している学習ソフト<br/>         ※学習支援員:学力向上のため教員と共に、授業等で個別支援を行う支援員</p> | 14,216      | 指導課 |
| 重  | 授業力アップ支援事業                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の授業力の向上を目的として実施した。</li> <li>●経験が豊富で、優れた指導力をもつ退職教員等を授業力アップ支援員として委嘱し、教員に指導方法や教材研究等について指導助言等の支援を行った。。小学校14校、中学校4校を指定校とし、計32回の公開授業を行い、800人近くが参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                 | 2,771       | 指導課 |
| 重  | 【新】<br>少人数指導による「確かな学力」向上支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●県費の少人数加配が配置されない学校に市費で非常勤講師を配置し、つまづきが発生しやすい小学校3・4年生の算数及び中学校1年生の数学等の時間に少人数指導(習熟度別学習を含む)を市内全ての小・中学校で実施し、児童・生徒の基礎学力の定着を図ることを目的に実施した。</li> <li>●市費の非常勤講師として、小学校に25校30人、中学校に9校9人配置した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                  | 61,148      | 指導課 |
| 重  | 【新】<br>放課後学習サポート事業           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校で放課後学習支援員を配置し、学習内容の理解を深めるため、学習支援ソフト等を活用して、児童の状況に応じた学習支援を行い、基礎基本の学力の定着を図ることを目的に実施した。</li> <li>●小学校61校153人の放課後学習支援員を配置した。</li> <li>●中学校への拡充を図り、継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                            | 10,023      | 指導課 |
| 重  | 【新】<br>学校園支援ボランティア活用事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育・授業中の支援や放課後学習支援などの学校園の教育活動を支援するボランティアを学生や市民等から募集・登録し、学校園のニーズに応じてボランティアを派遣する目的に実施した。</li> <li>●幼稚園26園46人、小学校20校41人、中学校6校25人派遣を行った。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                              | 152         | 指導課 |

|   |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |        |           |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|
| 重 | 教育用デジタルコンテンツ整備事業 | <p>●教師が日常的にICTを活用した授業を行い、学習指導要領で示された児童生徒の情報活用能力と学力向上や情報モラル・セキュリティ能力の育成を図ることを目的に、教育効果の高いデジタル教材の拡充整備を実施した。</p> <p>●平成24年度に引き続き、新学習指導要領に準拠した中学校英語と歴史のデジタル教科書、高等学校の情報モラル教育用コンテンツ(※)の整備を行った。</p> <p>●デジタル教科書を活用する支援を行いながら、次の教科書改訂時には更新を行うなど、事業を継続して実施する。</p> <p>※コンテンツ:データで表現された文章、画像、映像、音楽などメディア情報の中身のこと</p> | 20,731 | 情報学習⑤・指導課 |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|

## 重点施策③ー1の「評価」「課題と今後の方針」「学識経験者の意見」

### 評 価

基礎学力の定着や学習意欲の向上を目指して、「授業力アップ支援事業」による教員の指導力の向上、「学力向上支援事業」での学習支援ソフトの積極的な活用に加え、きめ細やかな少人数指導等を行うため、学校へのマンパワーを導入する「基礎学力向上支援事業」等に取り組み、基礎的な学力定着の面では、向上傾向が見られる。

### 課題と今後の方針

学力・学習状況調査の結果等から、基礎学力の定着や学習に対する意欲について改善傾向が見られるものの、依然として十分ではない。今後さらに、「わかる授業」のための授業改善や、基礎基本の徹底を核として活用する力も身につけることで確かな学力の向上を図る。

そのために、学校へのマンパワーの更なる導入や放課後学習支援等の補充学習、「春休みの課題」等の長期休業中の課題や家庭学習の充実に向けた取り組みを推進していく。

### 学識経験者の意見

子どもたちの基礎学力の定着や学習意欲の向上をめざし、これまでの事業に加え、さらに3つの新規事業にも取り組み、非常勤講師など経費のかかるマンパワーを市費で負担し学校に配置しているところなどに、市教委としての意気込みが現れており、大いに評価できる。

一人一人の子どもたちの基礎学力の定着や学習意欲の向上は、こうした取組を絶えず検証したり改善を加えたりしながら、粘り強く積み重ねていくことによって、次第に成果として現れてくるであろう。

## テーマ2 いじめ・不登校対策について

### 重点施策 いじめ・不登校対策の充実（施策②－４）

目標：不登校出現率 H27年度目標値

小学校0.33% 中学校2.43% の達成をめざします

#### 目標の進捗状況

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                          | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値<br>H27 H32 |        |
|------------------------------|------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------------|--------|
| 小学校での不登校児童出現率                |                                          | ➡          | 0.43 %                                                                                                                                                                                                    | 0.52 %     | 0.47 %     | ➡            | ➡            | 0.33 %         | 0.24 % |
| 算出<br>方法                     | 不登校による欠席が年間30日以上の子<br>童生徒数／倉敷市の児童生徒数×100 | 分析         | ●実績値は、基準年に比べ、0.04ポイント上がり、前年度に比<br>べ、0.05ポイント下がった。<br>●国平均(0.36)と県平均(0.43)を若干上回っているが、国・県<br>平均との差はH24より小さくなった。<br>●前年度より改善が見られるのは、スクールカウンセラーの全<br>校配置やスクールソーシャルワーカーの活用などにより対応を<br>強化してきた効果が現れてきているためと思われる。 |            |            |              |              |                |        |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                          | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                          | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値<br>H27 H32 |        |
|------------------------------|------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------------|--------|
| 中学校での不登校生徒出現率                |                                          | ➡          | 3.37 %                                                                                                                                                                                              | 2.64 %     | 2.26 %     | ➡            | ➡            | 2.43 %         | 1.82 % |
| 算出<br>方法                     | 不登校による欠席が年間30日以上の子<br>童生徒数／倉敷市の児童生徒数×100 | 分析         | ●実績値は、基準年に比べ、1.11ポイント下がり、前年度に比<br>べ、0.38ポイント下がった。<br>●国平均(2.69)と県平均(2.48)を下回り、さらにH27の目標値<br>も下回る結果となった。<br>●前年度より改善が見られるのは、スクールカウンセラーの全<br>校配置やスクールソーシャルワーカーの活用などにより対応を<br>強化してきた効果が現れてきているためと思われる。 |            |            |              |              |                |        |

#### 施策を推進する主な事業

○不登校児童・生徒支援員等配置事業

○スクールカウンセラー等配置事業

○学校問題支援プロジェクト事業

○生徒指導総合実践事業

○教育センター事業（ふれあい教室）



警察官とのチームティーチング



ふれあいソフトバレーボール大会

## 施策を推進する主な事業の評価

| 区分 | 事業名              | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額<br>(千円) | 所属      |
|----|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|
| 重  | 学校問題支援プロジェクト事業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●チーム会議の開催や支援スタッフの配置により、学校だけでは解決が難しい諸問題に適切に対応し、学校を効果的かつ機能的に援助することを目的として実施した。</li> <li>●学校問題解決に向けたチーム会議を小学校では延べ19回、中学校では延べ8回、高等学校では延べ2回実施。支援スタッフを延べ22校に36人配置。支援の累積時間は11,329時間であった。</li> <li>●学校に対して事業の趣旨の周知に努めるとともに、学校現場のより多くのニーズに応えられるよう支援スタッフの人材及び人数の充実を図り、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                               | 10,597      | 指導課     |
| 重  | 生徒指導総合実践事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校内の指導体制を強化することで、学校の荒れ、暴力行為、いじめ・不登校等の問題行動等の未然防止や状況の改善を図る目的で実施した。</li> <li>●生徒指導支援員を配置した。</li> <li>●学校問題の解決には、地域の人材である支援員のかかわりが不可欠であるという観点から、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 8,902       | 指導課     |
| 重  | スクールカウンセラー等配置事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめ、不登校をはじめとする児童生徒の学校不適応問題に対応することを目的に実施した。</li> <li>●国のスクールカウンセラーが配置されていない小学校及び高等学校等に単市予算でスクールカウンセラーを派遣。スクールカウンセラーを53小学校及び5高等学校、1特別支援学校、5適応指導教室に配置した。また、教師カウンセラー、不登校児童生徒支援員等に専門的な見地から指導助言するスーパーバイザーを2人委嘱し、不登校対策や教育相談の質的な充実を図った。</li> <li>●スクールカウンセラーの研修の充実や効果的な援助、小学校への派遣頻度を上げるなど、事業の拡充を検討していきたい。</li> </ul> <p>※スクールカウンセラー：学校で児童生徒や保護者のカウンセリングを行う心の専門家<br/>         ※教師カウンセラー：不登校対策や教育相談で、そのリーダーシップを発揮する中学校に各1名配置されている教員<br/>         ※不登校児童生徒支援員：校内で別室指導や家庭訪問により、不登校傾向の子どもやその保護者にかかわる支援員<br/>         ※スーパーバイザー：心理的援助について、学校に指導・助言を行う専門家</p> | 24,777      | 指導課     |
| 重  | 不登校児童・生徒支援員等配置事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童・生徒の学校復帰への支援、いじめ問題の早期解決に向けた取組の推進を目的に実施した。</li> <li>●教育相談や生徒指導・学習指導を行う支援員を小学校に配置し、不登校児童とのかかわりや家庭訪問等を行った。また、教師カウンセラーを全中学校に配置し、教職員、スクールカウンセラー、不登校生徒支援員等との連絡・調整を図り、家庭訪問を行った。</li> <li>●学校現場のニーズに対応するため、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 26,893      | 指導課・学事課 |
| 重  | 教育センター事業（ふれあい教室） | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童生徒の学校復帰と、社会的自立の支援を目的に実施した。</li> <li>●市内5つの適応指導教室で延べ77人の不登校児童生徒を受け入れた。うち中3の生徒22人は全員が高等学校への進学を果たした。</li> <li>●関係機関や在籍校、保護者等との連携を密にし、適応指導教室における活動の内容や支援を工夫しながら事業を継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 50,904      | 教育⑦・指導課 |

## 重点施策②ー4の「評価」「課題と今後の方針」「学識経験者の意見」

### 評 価

不登校の長期化やいじめ問題の早期発見・早期解決に向けて、学校問題支援プロジェクト事業や生徒指導総合実践事業等を通して、不登校支援員・生徒指導支援員等の人的配置を行い、各学校の取組の支援を行うことにより、徐々にではあるが改善傾向が見られた。

### 課題と今後の方針

中学校では不登校出現率のH27年目標値に達成しているが、不登校の長期化やいじめ問題等の解決を図るべき課題が依然として見られる。

今後さらに、スクールカウンセラーや支援員の増員や配置時間の拡大を通して、不登校児童・生徒への支援やいじめ問題の早期解決等に向けた取組の充実を進める。

### 学識経験者の意見

いじめ・不登校問題の改善には、学校はもとより支援員の方々や、家庭、地域、関係機関等と連携した取組が不可欠である。

子どもたちを取り巻く関係者の協力をいただきながら、一人一人を思いやる温かい人間関係づくりや学級づくりを基本に据え、それぞれの取組を粘り強く進めていく必要がある。

いじめ・不登校への対応は、初期段階からの適切な対応がきわめて重要である。いじめの早期発見に努めたり、不登校では学校を休み始めの段階から、関係者がしっかりと連携を図り、きめ細やかで適切な対応に心がけることを大切にしたい。

## テーマ3 学校・家庭・地域の連携について

### 重点施策

効果的な学校支援活動による地域と学校の  
一体感の醸成(施策⑧ー1)

目標：子どもの学校での教育について，学校，家庭，地域の  
連携ができていると思う人の割合

H27年度目標値 43.0% の達成をめざします

### 目標の進捗状況

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)            |                                                                                               | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                                                                | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25      | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------|--------------|--------------|------|------|
|                                         |                                                                                               |            |                                                                                                                                                                                                                                                           |                     |                 |              |              | H27  | H32  |
| 子どもの学校での教育について，学校，家庭，地域の連携ができていると思う人の割合 |                                                                                               | ➡          | 30.8 %<br>(n=1,653)                                                                                                                                                                                                                                       | 32.7 %<br>(n=1,024) | 38 %<br>(n=824) | ➡            | ➡            | 43 % | 57 % |
| 算出<br>方法                                | 市民アンケート調査で「子どもの学校での教育について，学校，家庭，地域の連携ができていると思いますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというときていいる』と回答した人の割合。 |            | 分析<br><ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値は，基準年に比べ，7.2ポイント上がり，前年度に比べ，5.3ポイント上がった。</li> <li>●「できている」「どちらかというときていいる」と回答した人の割合が38.0%に上昇したものの，「わからない」と回答した人の割合が34.1%にのぼっている。</li> <li>●「わからない」と回答した人の割合は，昨年度の39.4%から5.3ポイントさがって34.1%となっている。</li> </ul> |                     |                 |              |              |      |      |

### 施策を推進する主な事業

#### ○地域連携による学校支援事業



家庭科(ミシン)の学習支援



学校行事(もちつき)の支援



算数教室の学習支援

## 施策を推進する主な事業の評価

| 区分 | 事業名               | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 重  | 地域連携による学校支援事業(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。</li> <li>●小学校区13か所、中学校区8か所で事業を実施した。ボランティア登録総人数は1,292人、延べ31,733人のボランティアが学習支援や環境整備などの学校支援活動に参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 10,305      | 生涯学習課 |

## 重点施策⑧ー1の「評価」「課題と今後の方針」「学識経験者の意見」

### 評価

地域連携による学校支援事業実施学区は平成25年度までに21学区に拡充している。また、事業未実施学区の大部分でも学区の人材マップや教職員の個人的なつながりを利用して募集したボランティアによる学校支援活動は実施している。

地域連携による学校支援事業実施学区においては、学校と家庭、地域をつなぐコーディネーターの活躍により、多くのボランティアが学校を支援する活動(学習支援・環境整備・登下校の安全支援・学校行事支援等)に参画している。また、実施学区でのボランティアのアンケートの結果では、「いろいろな人と出会い交流する機会が増えた」「地域の子どもに対する関心が深まった」「学校に対する理解が深まった」の項目が高い評価となっている。

### 課題と今後の方針

学校と家庭、地域をつなぐコーディネーターの確保が課題となっている。事業未実施の学区では、学校と地域の実情を適切に把握したコーディネーターの発掘が、実施学区では次期コーディネーターの養成が必要である。

地域連携による学校支援事業を導入していない学区でも、地域の方が環境整備や学習支援など、学校支援活動を実施しているが、組織的な仕組みづくり、参画者数の拡大及び参画者の支援活動の拡充にはつながりにくい。そこで、「地域連携による学校支援事業」を学区の要望に応じて拡大すると同時に、コーディネーターを中心とした組織的な学校支援を実施するために、コーディネーター研修の充実に取り組む。

### 学識経験者の意見

学校支援事業の実施学区が順調に拡大していることは成果として評価できる。活動内容も学習支援だけでなく環境整備、登下校の安全支援、学校行事支援まで幅広く展開されていることも評価できる。教員自体の生活経験が決して豊かでない時代になってきており、家庭や地域の人々との連携による学校支援は今後ますます不可欠である。また倉敷市のような地方都市でも地域の支援を得なければ学校行事が成り立たないような人口減少地区も存在することを忘れてはならない。

成果があがった一方で、早くも次世代を担う人材の発掘が課題になっており、地域に密着したボランティアの育成が不可欠な“育てる”事業であることを痛感する。

また学校支援には地域の実情に通暁し、調整能力に長けた学校側の窓口担当者も重要である。倉敷市では早くから学校教育と社会教育の両面に長けた現場教員が教育委員会に異動し、学校支援事業の研究に取り組んだのちに現場に帰って指導的任務に就くという人事を行っており評価できる。このように時代を見据えた教員の育成を行い、各学区に配置することも重要と考える。

(6) 基本施策の点検・評価

基本施策①

その人らしさが尊重され、人権が守られる社会をつくる

担当部署

人権教育推進室, 市民学習センター

施策に対する考え方

全ての人の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、市民一人一人の人権尊重の精神の涵養を図ることが不可欠であり、本市においても、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」(平成12年)や「人権教育・啓発に関する基本計画」(平成14年)に基づき、「第3次岡山県人権政策推進指針」(平成23年)、「第2次岡山県人権教育推進プラン」(平成24年)、「倉敷市人権政策推進計画(改訂版)」(平成25年)を踏まえ、「倉敷市子ども条例」(平成24年)の理念を尊重して、人権教育を積極的に推進していきます。

数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)     |                                                                                    | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H21                                                                                                                    | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値<br>H27 H32 |      |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合 |                                                                                    |  | 46.9 %<br>(n=1,653)                                                                                                           | 46.6 %<br>(n=1,024) | 52.6 %<br>(n=824) |  |  | 60 %           | 70 % |
| 算出<br>方法                         | 市民アンケート調査で「日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                  | ●実績値は、基準年に比べ、5.7ポイント上がり、前年度に比べ、6ポイント上がった。<br>●「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した人の割合は、30歳代を除くすべての年代で増加した。特に16～19歳は41.7%から72.7%へと大幅に増加した。 |                     |                   |                                                                                       |                                                                                       |                |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策①-1 学校園における人権教育の推進

| 区分 | 事業名             | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                               | 決算額<br>(千円) | 所属      |
|----|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|
|    | 学校園人権教育<br>研修事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な人権問題についての理解と認識を深め、各学校園の人権教育の推進と充実を図ることを目的に実施した。</li> <li>●管理職や人権教育担当者等の教職員を対象に9回の人権教育研修会等を開催し、1,089人が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                | 150         | 人権教育推進室 |
|    | 人権教育現地研<br>修事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●同和問題、平和、ハンセン病にかかわりの深い場所を訪れ、施設の見学や当事者との交流等を通して、各人権課題についての理解と認識を深め、人権を守り、人権問題を解決していこうとする意識、意欲を高めることを目的に実施した。</li> <li>●教職員を対象に6回開催し、256人が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 307         | 人権教育推進室 |

### 施策①-2 地域社会における人権教育の推進

| 区分 | 事業名             | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算額<br>(千円) | 所属          |
|----|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
|    | 人権学習推進事<br>業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●人権を尊重し合う、明るく住みよい地域づくりを目的として実施した。</li> <li>●倉敷市内全26中学校区で人権教育・啓発の充実を図るための様々な活動事業を、人権学習推進委員会として実施した。人権問題に対する理解を深めるための研修活動や、地域の福祉施設等との交流やイベントを行う、ふれあい・交流活動には延べ※13,051人の市民が参加した。また、広報活動として、活動紹介や啓発記事を掲載した広報紙を年間56回、合計325,138部作成し、各地域に配付した。</li> <li>※昨年度から集計方法を変更しているため、参加人数が減少しています。</li> <li>●活動の内容の工夫・改善を行いながら、今後も継続して実施する。</li> </ul> | 11,250      | 人権市民教育学習推進室 |
|    | PTA人権教育推<br>進事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの人権感覚を育成するための保護者の役割や保護者の人権問題についての理解と認識を深めることを目的に実施した。</li> <li>●幼・小・中・特別支援学校で805回のPTA人権教育の研修会を開催し、52,895人が参加した。</li> <li>●事業内容を精査し、継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                           | 1,316       | 人権教育推進室     |

※所属欄の㊦は「センター」の略 以下同じ

### 施策①-3 啓発活動の充実と学習機会の提供

| 区分 | 事業名            | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                            | 決算額<br>(千円) | 所属      |
|----|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|
|    | 人権教育資料作<br>成事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA人権教育推進事業等の研修会で活用することを目的に啓発冊子「みんなのしあわせのために」等を作成、配布した。</li> <li>●教職員及び保護者等に「みんなのしあわせのために」20,677部、「人権ア・ラ・カルト」2,191部を配布した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 1,287       | 人権教育推進室 |

|  |            |                                                                                                                                                                                                                          |     |         |
|--|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
|  | 人権ポスター募集事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒の人権意識の高揚を図るとともに、最優秀作品等を活用して啓発活動を進めることを目的にポスターを募集した。</li> <li>●人権週間に最優秀作品等を倉敷市役所本庁1階展示ホール等に展示したり、最優秀作品等を活用して人権ポスターを400部作成し、学校園や公民館等229箇所に掲示した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 332 | 人権教育推進室 |
|--|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|

## 基本施策①の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- 学校等においては、人権教育の指導方法や指導内容のさらなる充実と改善に努める必要がある。
- 身近な地域の人権関係を大切に人権教育をさらに推進する必要がある。
- 様々な人権問題についての正しい理解を深めるとともに、人権がもつ価値や重要性を直感的に感知する豊かな人権感覚を育む必要がある。

### 今後の取組み方針

- 様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めたり、日常生活の中に生かせる人権感覚の育成に取り組む。
- 教職員の人権意識の向上を目指し、職務や職階に応じた教職員研修に取り組む。
- 学校園の人権教育を家庭で支えるために保護者の人権意識の高揚を目指した研修の推進に取り組む。
- 児童生徒の人権意識の向上と啓発活動の充実を図るため人権ポスター事業を実施する。
- 学校や地域社会における人権教育に活用するための啓発資料の作成に取り組む。

### 学識経験者の意見

- 一人一人の人権意識を高め、人権を尊重し合い明るく住みよい地域づくりをめざし、市教委として様々な取組を継続して進めてきていることは評価される。
- 市教委としてのこれまでの様々な取組の成果が、評価指標の改善にも表れてきつつあると思う。学校はもとより、家庭や地域等においても、人権教育の一層の充実を図っていく必要がある。
- 研修等に当たっては、受講者が新鮮な感覚で意欲的に学べるように、対象を変えたり、視点を変えたり、教材や資料に工夫を加えたりしながら、さらに工夫を加えていきたいものである。

## 基本施策②

### 子どもが心豊かに成長できる学びの場をつくる

#### 担当部署

指導課, 学事課, 人権教育推進室, 教育センター

#### 施策に対する考え方

人間は、人や社会との関わりの中で生きていくものであり、子どもたちがよりよい社会生活を送る上で必要な人を思いやる優しさ、生命や自然を大切にするとともに社会性や規範意識などをはぐくむために、人権教育や道徳教育、ボランティア活動などの体験活動を重視した教育活動を推進します。

また、保護者や地域と連携した取組を進めるとともに、相談・指導体制の充実を図ることにより、いじめを許さない学校づくりや不登校を生まない魅力ある学校づくりを進めます。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                             | 目指す<br>方向性                                                                         | 基準値<br>H21                                                                                                                            | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                         | H24<br>からの傾向                                                                         | 目標値   |       |
|------------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
|                              |                             |                                                                                    |                                                                                                                                       |            |            |                                                                                      |                                                                                      | H27   | H32   |
| 小学校での1,000人当たりのいじめの認知件数      |                             |  | 1.3 件                                                                                                                                 | 3.2 件      | 2.5 件      |  |  | 1.1 件 | 0.9 件 |
| 算出<br>方法                     | いじめの認知件数 / 倉敷市の児童生徒数 × 1000 | 分析                                                                                 | ●実績値は、基準年に比べ、1.2件増え、前年度に比べ、0.7件減った。<br>●国平均(17.8件)と県平均(3.5件)を下回っている。<br>●H24から、小さな事案まで見逃さないように、全国的に教育相談やアンケート調査等の充実が図られたため、認知件数が増加した。 |            |            |                                                                                      |                                                                                      |       |       |

| 評価指標         |                           | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H21                                                                                                                           | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値   |       |
|--------------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
|              |                           |                                                                                     |                                                                                                                                      |            |            |                                                                                       |                                                                                       | H27   | H32   |
| 小学校でのいじめの解消率 |                           |  | 76 %                                                                                                                                 | 87 %       | 96 %       |  |  | 100 % | 100 % |
| 算出<br>方法     | いじめの解消件数 / いじめの認知件数 × 100 | 分析                                                                                  | ●実績値は、基準年に比べ、20ポイント上がり、前年度に比べ、9ポイント上がった。<br>●国平均と県平均については10月公表予定。<br>●H25年度内のいじめの解消率は96%であったが、その後の取組により、継続・観察を含めると100%の事案の解消が図られている。 |            |            |                                                                                       |                                                                                       |       |       |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                             | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                                      | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27 H32 |       |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 中学校での1,000人当たりのいじめの認知件数      |                             |  | 7.6 件                                                                                                                                                           | 10.5 件     | 10.3 件     |  |  | 4.4 件          | 2.8 件 |
| 算出<br>方法                     | いじめの認知件数 / 倉敷市の児童生徒数 × 1000 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、2.7件増え、前年度に比べ、0.2件減った。</p> <p>●国平均(15.6件)は下回っているが、県平均(8.2件)は上回っている。</p> <p>●H24年度より、こまめな事案まで見逃さないように、全国的に教育相談やアンケート調査等の充実が図られたため、認知件数が増加した。</p> |            |            |                                                                                     |                                                                                     |                |       |

| 評価指標         |                           | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                     | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27 H32 |       |
|--------------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 中学校でのいじめの解消率 |                           |  | 77 %                                                                                                                                           | 89 %       | 86 %       |  |  | 100 %          | 100 % |
| 算出<br>方法     | いじめの解消件数 / いじめの認知件数 × 100 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、9ポイント上がり、前年度に比べ、3ポイント下がった。</p> <p>●国平均と県平均については10月公表予定。</p> <p>●H25のいじめの解消率は86%であったが、その後の取組により、継続・観察を含めると96%の事案の解消が図られている。</p> |            |            |                                                                                     |                                                                                     |                |       |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                              | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                               | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値<br>H27 H32 |        |
|------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------|
| 小学校での不登校児童出現率                |                                              |  | 0.43 %                                                                                                                                                                                                   | 0.52 %     | 0.47 %     |  |  | 0.33 %         | 0.24 % |
| 算出<br>方法                     | 不登校による欠席が年間30日以上の子<br>童生徒数 / 倉敷市の児童生徒数 × 100 | 分析                                                                                  | <p>●実績値は、基準年に比べ、0.04ポイント上がり、前年度に比べ、0.05ポイント下がった。</p> <p>●国平均(0.36)と県平均(0.43)を若干上回っているが、国・県平均との差はH24より小さくなった。</p> <p>●前年度より改善が見られるのは、スクールカウンセラーの全校配置やスクールソーシャルワーカーの活用などにより対応を強化してきた効果が現れてきているためと思われる。</p> |            |            |                                                                                       |                                                                                       |                |        |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                              | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                         | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値<br>H27 H32 |        |
|------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------|
| 中学校での不登校生徒出現率                |                                              |  | 3.37 %                                                                                                                                                                                             | 2.64 %     | 2.26 %     |  |  | 2.43 %         | 1.82 % |
| 算出<br>方法                     | 不登校による欠席が年間30日以上の子<br>童生徒数 / 倉敷市の児童生徒数 × 100 | 分析                                                                                  | <p>●実績値は、基準年に比べ、1.11ポイント下がり、前年度に比べ、0.38ポイント下がった。</p> <p>●国平均(2.69)と県平均(2.48)を下回り、さらにH27の目標値も下回る結果となった。</p> <p>●前年度より改善が見られるのは、スクールカウンセラーの全校配置やスクールソーシャルワーカーの活用などにより対応を強化してきた効果が現れてきているためと思われる。</p> |            |            |                                                                                       |                                                                                       |                |        |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)     |                                                                                                 | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                               | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27 H32 |      |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 困ったこと、辛いことがあった人を助けてあげたいと思う子どもの割合 |                                                                                                 |  | 87.8 %<br>(n=617)                                                                                                                                                                                                        | 89.6 %<br>(n=540) | 88.6 %<br>(n=525) |  |  | 92 %           | 95 % |
| 算出<br>方法                         | 小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「困ったこと、辛いことがあった人を見たら、助けてあげたいと思いますか。」という設問に対して、『いつも思う』『ときどき思う』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、0.8ポイント上がり、前年度に比べ、1ポイント下がった。</p> <p>●小学6年生は90%以上であったが、それ以外は90%以下の値であった。男女別で見ると、女子が91.4%で、男子は85.6%と若干低かった。</p> <p>●学年が上がるにつれて、自分の力では難しい等の気持ちが強まるのではないかとと思われる。また女子は、相談を聞くことも助けになるという意識があるのではないかとと思われる。</p> |                   |                   |                                                                                     |                                                                                     |                |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標     |                                   | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                               | 実績値<br>H23 | 実績値<br>H24 | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H23<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27 H32 |      |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 情報モラルに関する授業・指導ができる教員の割合 |                                   |  | 75.2 %                                                                                                                                                   | 82.6 %     | 87.4 %     |  |  | 90 %           | 95 % |
| 算出<br>方法                | 文部科学省による学校における教育の情報化の実態等に関する調査より。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、12.2ポイント上がり、前年度に比べ、4.8ポイント上がった。</p> <p>●国平均(74.8%)を12.5ポイント上回り、県平均(89.6%)を2.2ポイント下回った。</p> <p>●情報モラルに関する研修や環境整備等の充実が図られたことによると考えられる。</p> |            |            |                                                                                     |                                                                                     |                |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策②-1 人権教育、道徳教育の推進

| 区分 | 事業名                      | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算額<br>(千円) | 所属         |
|----|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------|
|    | 学校園人権教育推進事業              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員の人権教育に対する認識を深め、人権教育の推進と充実を図ることを目的として実施した。</li> <li>●26中学校ブロックにおいて、ブロック内の人権教育推進上の課題を校園種間で共有し、課題解決に向け、連携に基づいた具体的な研究実践が行われた。また、倉敷市人権教育研究大会で8校園による実践発表があり、409人の教職員が参加した。</li> <li>●事業内容を精査し、継続して実施する。</li> </ul>                                                     | 6,875       | 人権指導推進室    |
|    | 道徳教育総合支援事業<br>【情報教育推進事業】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報モラル、情報セキュリティに関する指導力、授業力の向上を目的に実施した。</li> <li>●文部科学省道徳教育総合支援事業補助金を活用して、専門性の高い講師を招聘して全校研修及び校内研修を実施した。道徳教育推進教師対象全体研修4回、小学校初任者研修各1回、希望した8校での校内研修23回を開催。参加教員総数は992人であった。</li> <li>●関係課と連携し、教員の道徳教育の指導力や授業力を高めることと、家庭教育と連携したPTA研修による情報モラル教育の推進を目的に、継続して実施する。</li> </ul> | 11,871      | 教育情報・学習指導課 |

※所属欄の㊦は「センター」の略 以下同じ

### 施策②-2 ボランティア教育、特別活動の充実

| 区分 | 事業名        | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 学校音楽祭実施事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の小・中学校・支援学校、高等学校の児童生徒が参加し、合唱・合奏・吹奏楽等の音楽発表を行い、相互鑑賞することで情操を高め、豊かな創造性を養うことを目的に実施した。</li> <li>●小・中学校・支援学校89校と高等学校11校[計100校]が参加して、倉敷市民会館[11月14, 15日]、児島文化センター[11月12日]、玉島文化センター[11月15日]にて開催した。[参加児童生徒6,756人]</li> <li>●各校で、学校行事として位置づけられており、継続して実施する。</li> </ul> | 8,559       | 指導課 |
|    | 総合舞台芸術鑑賞事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●劇団四季が行う「こころの劇場」プロジェクトを利用し、市内の小学校6年生全員に本物のミュージカルを鑑賞する機会を設定し、豊かな体験活動と情操教育の充実を図ることを目的に実施した。</li> <li>●倉敷市民会館にて[2月6日(木)7日(金)]、2日間で3公演、市内6年生児童引率者等延べ[5,104人]が観劇をした。</li> <li>●倉敷市の子どもたちへの情操教育の事業として5年目となり、定着してきた。次年度も継続して実施する。</li> </ul>                         | 3,991       | 指導課 |

### 施策②-3 校種間連携の推進と学校問題の解決

| 区分 | 事業名            | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 学校問題支援プロジェクト事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●チーム会議の開催や支援スタッフの配置により、学校だけでは解決が難しい諸問題に適切に対応し、学校を効果的かつ機能的に援助することを目的として実施した。</li> <li>●学校問題解決に向けたチーム会議を小学校では延べ19回、中学校では延べ8回、高等学校では延べ2回実施。支援スタッフを延べ22校に36人配置。支援の累積時間は11,329時間であった。</li> <li>●学校に対して事業の趣旨の周知に努めるとともに、学校現場のより多くのニーズに応えられるよう支援スタッフの人材及び人数の充実を図り、事業の拡大を検討する。</li> </ul> | 10,597      | 指導課 |

|  |                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |             |
|--|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|
|  | 小1グッドスタート<br>延長事業               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●入学したばかりの小学校1年生が集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの状態が数か月継続する状態、いわゆる「小1プロブレム」への対応を目的に実施した。</li> <li>●小学校第1学年において児童数が30人以上の学級がある場合、すべての学級に支援員を配置。4月～10月(20週)は岡山県が配置。残りの期間は市が配置。対象小学校26校、配置支援員83人。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                     | 33,253 | 学<br>事<br>課 |
|  | 生徒指導支援員<br>配置事業【生徒指<br>導総合実践事業】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校内の指導体制を強化することで、学校の荒れ、暴力行為、いじめ・不登校等の問題行動等の未然防止や状況の改善を図る目的で実施した。</li> <li>●生徒指導支援員を配置した。</li> <li>●学校問題の解決には、地域の人材である支援員のかかわりが不可欠であるという観点から、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                                                                             | 8,902  | 指<br>導<br>課 |
|  | 非常勤講師等単<br>市加配事業                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校の複式学級解消や中学校の生徒指導充実、特別支援学校の教育充実を目的として、実施した。</li> <li>●非常勤講師を小学校に2人、中学校に19人、特別支援学校に6人配置した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> <p>※複式学級：2つ以上の学年をひとつにした学級のこと</p>                                                                                                    | 57,584 | 学<br>事<br>課 |
|  | 校種間連携推進<br>事業                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学力の向上や生徒指導の充実に向けて、校種間の連携を図った具体的な取組を、中学校区単位で推進することを目的に実施した。</li> <li>●市内各中学校区ごとの協議の場を、校園長会、副校長・教頭会、研究主任者会等の機会に設置し、協議を行った。お互いの校種の授業参観を行ったり、互いの行事に児童生徒が参加したりする例が増加していることから効果が上がっていると考え。</li> <li>●小中学校間の連携は進んできているが、就学前(幼稚園・保育園)と小・中学校との連携についても検討していく。</li> </ul> | —      | 指<br>導<br>課 |

#### 施策②-4 いじめ・不登校対策の充実(重点)

| 区分 | 事業名                                     | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算額<br>(千円) | 所属          |
|----|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
| 重  | 学校問題支援プロ<br>ジェクト事業(再<br>掲)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●チーム会議の開催や支援スタッフの配置により、学校だけでは解決が難しい諸問題に適切に対応し、学校を効果的かつ機能的に援助することを目的として実施した。</li> <li>●学校問題解決に向けたチーム会議を小学校では延べ19回、中学校では延べ8回、高等学校では延べ2回実施。支援スタッフを延べ22校に36人配置。支援の累積時間は11,329時間であった。</li> <li>●学校に対して事業の趣旨の周知に努めるとともに、学校現場のより多くのニーズに応えられるよう支援スタッフの人材及び人数の充実を図り、事業の拡大を検討する。</li> </ul> | 10,597      | 指<br>導<br>課 |
| 重  | 生徒指導支援員<br>配置事業【生徒指<br>導総合実践事業】<br>(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校内の指導体制を強化することで、学校の荒れ、暴力行為、いじめ・不登校等の問題行動等の未然防止や状況の改善を図る目的で実施した。</li> <li>●生徒指導支援員を配置した。</li> <li>●学校問題の解決には、地域の人材である支援員のかかわりが不可欠であるという観点から、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                                                                                               | 8,902       | 指<br>導<br>課 |

|   |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |         |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------|
| 重 | スクールカウンセラー等配置事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめ、不登校をはじめとする児童生徒の学校不適応問題に対応することを目的に実施した。</li> <li>●国のスクールカウンセラーが配置されていない小学校及び高等学校等に単市予算でスクールカウンセラーを派遣。スクールカウンセラーを53小学校及び5高等学校、1特別支援学校、5適応指導教室に配置した。また、教師カウンセラー、不登校児童生徒支援員等に専門的な見地から指導助言するスーパーバイザーを2人委嘱し、不登校対策や教育相談の質的な充実を図った。</li> <li>●スクールカウンセラーの研修の充実や効果的な援助、小学校への派遣頻度を上げるなど、事業の拡充を検討していきたい。</li> </ul> <p>※スクールカウンセラー：学校で児童生徒や保護者のカウンセリングを行う心の専門家<br/>         ※教師カウンセラー：不登校対策や教育相談で、そのリーダーシップを発揮する中学校に各1名配置されている教員<br/>         ※不登校児童生徒支援員：校内で別室指導や家庭訪問により、不登校傾向の子どもやその保護者にかかわる支援員<br/>         ※スーパーバイザー：心理的援助について、学校に指導・助言を行う専門家</p> | 24,777 | 指導課     |
| 重 | 不登校児童・生徒支援員等配置事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童・生徒の学校復帰への支援、いじめ問題の早期解決に向けた取組の推進を目的に実施した。</li> <li>●教育相談や生徒指導・学習指導を行う支援員を小学校に配置し、不登校児童とのかかわりや家庭訪問等を行った。また、教師カウンセラーを全中学校に配置し、教職員、スクールカウンセラー、不登校生徒支援員等との連絡・調整を図り、家庭訪問を行った。</li> <li>●学校現場のニーズに対応するため、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 26,893 | 指導課・学事課 |
| 重 | 教育センター事業（ふれあい教室） | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童生徒の学校復帰と、社会的自立の支援を目的に実施した。</li> <li>●市内5つの適応指導教室で延べ77人の不登校児童生徒を受け入れた。うち中3の生徒22人は全員が高等学校への進学を果たした。</li> <li>●関係機関や在籍校、保護者等との連携を密にし、適応指導教室における活動の内容や支援を工夫しながら事業を継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 50,904 | 教育⑤・指導課 |

#### 施策②ー5 相談・指導体制の整備

| 区分 | 事業名                             | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                          | 決算額（千円） | 所属      |
|----|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|
|    | 訪問カウンセリング事業<br>【生徒指導総合実践事業（再掲）】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問カウンセラーを教育センターに配置し、不登校・引きこもり傾向にある児童生徒並びに保護者に対し、家庭訪問による教育相談を実施し、不登校・引きこもり等の状況改善を図る目的で実施した。</li> <li>●カウンセリングを行うことのできる臨床心理士及びそれに準ずる専門的な知識・経験を有する適切な人材5人で事業を実施し、延べ163回の児童生徒のカウンセリングの中で、有効な事業実践ができたと考える。</li> <li>●平成25年度で完了。平成26年度から県直営事業で実施。</li> </ul> | 1,162   | 指導課・教育⑤ |

|  |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |         |
|--|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------|
|  | 不登校児童・生徒支援員等配置事業(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童・生徒の学校復帰への支援, いじめ問題の早期解決に向けた取組の推進を目的に実施した。</li> <li>●教育相談や生徒指導・学習指導を行う支援員を小学校に配置し, 不登校児童とのかかわりや家庭訪問等を行った。また, 教師カウンセラーを全中学校に配置し, 教職員, スクールカウンセラー, 不登校生徒支援員等との連絡・調整を図り, 家庭訪問を行った。</li> <li>●学校現場のニーズに対応するため, 事業の拡大を検討する。</li> </ul> | 26,893 | 指導課・学事課 |
|--|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------|

## 基本施策②の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- コミュニケーション能力の低下や他人を思いやる心の未発達等により, 器物破壊や暴力行為など衝動的に問題行動を起こしたり, 人の気持ちを考えない行動をとったりする子どもが増加する傾向にあり, 学校生活に十分に適応できていない子どもへの対策が求められている。
- 犯罪の低年齢化が進む中, 小学校段階からの問題行動への対応強化が求められている。
- 不登校児童生徒の出現率は, 近年, 微増傾向がみられていたが, 取組みの充実により減少に転じたことから, さらなる不登校対策の充実を図る必要がある。
- いじめを「よく見つけ, よく解消する」ことを目的として, 学校におけるアンケート等による実態把握や, いじめ防止の取組の充実を図る必要がある。教育委員会としてのいじめの実態把握, 各学校園での未然防止, 早期発見・早期解決への取組の強化が求められている。
- 子どもが, 携帯電話・スマートフォンやPCなどの情報機器を使用する機会が増加することに伴い, 不適切なサイトの利用, ネット上のいじめ行為等の件数が増加していることへの対策が必要である。

### 今後の取組み方針

- 道徳教育や情操を育てる活動, 仲間づくりに関わる特別活動を重視して, 子どもたちの心を耕すことに注力する必要がある。暴力行為, いじめ等の問題行動については, 実態把握に努めた上で, 「社会で許されないことは学校でも許されない」という姿勢で, 関係機関とも連携しながら毅然と対応し, 規範意識の醸成を図る。
- 学校だけでは対応が難しい問題行動については, 行政がコーディネーター役として関係機関と連携を取ったり, 研修やケース会議等を充実させたりして多面的に児童生徒・保護者・学校を支援する。
- スクールカウンセラーや教師カウンセラー, 不登校支援員等をより効果的に活用し, 相談体制や「ふれあい教室(適応指導教室)」の機能を充実させることで, 不登校児童生徒や保護者の気持ちに寄り添いながら支援し, 学級や学校復帰を促進する。
- 教育委員会主催の各種研修講座や校内研修等を通して, いじめ問題に対する教員の指導力を向上させるとともに, いじめ対策リーフレットの活用を進め, 学校と家庭が一体となっていじめの早期発見・早期解決や未然防止の取組の充実を図る。
- 情報モラル教育や情報に関する職員研修を充実させ, 情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てる。

●いじめの認知件数の削減は重要であるが、もっと重要なことはいじめの解消率がどうなっているかである。小学校では飛躍的に解消率が高まり、中学校でも基準値よりかなり高まっており、これまでの取組の成果が出てきているといえる。

●不登校対策は、中学校でたいへんすばらしい成果が出てきており、これまでのスクールカウンセラーの配置の効果が大きいと思われる。小学校でもスクールカウンセラーを全校配置したことはすばらしい。その効果が、今後徐々に出てくるものと思われる。

●ネットいじめなどのことを考えると、情報モラルの指導ができる教員が着実に増加していることはすばらしいことである。これを、児童生徒の指導に生かし、一層の成果を挙げられるようになることを期待したい。

## 基本施策③

### 学校教育の充実を図る

#### 担当部署

指導課，学事課，教育センター，保健体育課，  
教育施設課，教育企画総務課，情報学習センター，人権教育推進室，生涯学習課

#### 施策に対する考え方

学校教育を通じて、子ども一人一人の持ち味を生かし、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、国際化、情報化など社会の変化に主体的に対応できる生き抜く力をもった子どもを育成します。  
また、心の教育や健康教育を充実させるとともに、子どもに質の高い教育環境の整備を行い、安全・安心な学校園づくりに努めます。  
そのために、学校園は、保護者や地域住民と一体となって、開かれた学校園づくりの推進に努めていきます。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標              |                                                                    | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H22                                                                                                                                                                                                            | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|------|------|
|                                  |                                                                    |            |                                                                                                                                                                                                                       |            |            |              |              | H27  | H32  |
| 他校に開いて、授業公開や協議会を実施している学校の割合(小学校) |                                                                    |            | 79.4 %                                                                                                                                                                                                                | 95.2 %     | 92.1 %     |              |              | 85 % | 90 % |
| 算出<br>方法                         | 市の研究指定校，授業力アップ支援事業指定校，授業改革協力員在籍校等で授業公開や協議会をしている学校数の合計を小学校数63で割ったもの | 分析         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値は、基準年に比べ、12.7ポイント上がり、前年度に比べ、3.1ポイント下がった。</li> <li>●基準年以外は、既にH27の目標値を超える結果となっている。</li> <li>●子どもたちの学力の向上や生徒指導の充実については、中学校区や近隣の学校園との連携が重要であるという考えが進んできているものと考えられる。</li> </ul> |            |            |              |              |      |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標              |                                                                    | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H22                                                                                                                                                                                                            | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|------|------|
|                                  |                                                                    |            |                                                                                                                                                                                                                       |            |            |              |              | H27  | H32  |
| 他校に開いて、授業公開や協議会を実施している学校の割合(中学校) |                                                                    |            | 73.1 %                                                                                                                                                                                                                | 84.6 %     | 88.4 %     |              |              | 80 % | 85 % |
| 算出<br>方法                         | 市の研究指定校，授業力アップ支援事業指定校，授業改革協力員在籍校等で授業公開や協議会をしている学校数の合計を中学校数26で割ったもの | 分析         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値は、基準年に比べ、15.3ポイント上がり、前年度に比べ、3.8ポイント上がった。</li> <li>●基準年以外は、既にH27の目標値を超える結果となっている。</li> <li>●子どもたちの学力の向上や生徒指導の充実については、中学校区や近隣の学校園との連携が重要であるという考えが進んできているものと考えられる。</li> </ul> |            |            |              |              |      |      |

| 評価指標                   |                                                                                                                                             | 目指す方向性                                                                            | 基準値                                                                                                                                                                                                        | 実績値    | 実績値    | 基準値からの傾向                                                                            | H24からの傾向                                                                            | 目標値  |        |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|
|                        |                                                                                                                                             |                                                                                   | H22                                                                                                                                                                                                        | H24    | H25    |                                                                                     |                                                                                     | H27  | H32    |
| 岡山県学力・学習状況調査の県平均正答率との差 |                                                                                                                                             |  | -0.8 %                                                                                                                                                                                                     | -0.7 % | -0.7 % |  |  | ±0 % | +0.4 % |
| 算出方法                   | (倉敷市の4教科の平均正答率)－(県の4教科の平均正答率)<br>※指標数値は、翌年4月実施の岡山県学力・学習状況調査の結果である。<br>基準値H22・H23.4実施の調査結果<br>実績値H24・H25.4        "<br>実績値H25・H26.4        " | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、0.1ポイント上がり、前年度に比べ、変わっていない。</p> <p>●県平均正答率との差は昨年度と変わっていないが、漢字等の文字に関する力や基礎的な計算力は身につけてきている。</p> <p>●基礎・基本のより確実な定着を図る指導方法の工夫が大切である。また、基礎・基本の定着を図りながら、その力をどのように活用問題を解く力につなげていくかということも課題である。</p> |        |        |                                                                                     |                                                                                     |      |        |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                           | 目指す方向性                                                                            | 基準値                                                                                                                                                                                                                             | 実績値               | 実績値               | 基準値からの傾向                                                                            | H24からの傾向                                                                            | 目標値  |      |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
|                              |                                                                           |                                                                                   | H21                                                                                                                                                                                                                             | H24               | H25               |                                                                                     |                                                                                     | H27  | H32  |
| 学校が楽しいと思う子どもの割合              |                                                                           |  | 85.4 %<br>(n=617)                                                                                                                                                                                                               | 82.5 %<br>(n=540) | 79.4 %<br>(n=525) |  |  | 90 % | 94 % |
| 算出方法                         | 小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「学校は楽しいですか。」という設問に対して、『とても楽しい』『まあまあ楽しい』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、6ポイント下がり、前年度に比べ、3.1ポイント下がった。</p> <p>●小学校では、小4が最も低く(66.4%)、学年があがるにつれて回復していく傾向が見て取れる。中学校においては、学年があがるにつれて、低下する傾向にある。</p> <p>●小4については、低学年から高学年になり、学習内容や授業時間が多くなり、多忙感・責任が増すことや、交友関係などで悩みが出てくることなどが原因ではないかと考えられる。</p> |                   |                   |                                                                                     |                                                                                     |      |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)   |                                                                           | 目指す方向性                                                                              | 基準値                                                                                                                                                                                         | 実績値               | 実績値               | 基準値からの傾向                                                                              | H24からの傾向                                                                              | 目標値  |      |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
|                                |                                                                           |                                                                                     | H21                                                                                                                                                                                         | H24               | H25               |                                                                                       |                                                                                       | H27  | H32  |
| 困った時、悩みがある時に相談する人がいると答えた子どもの割合 |                                                                           |  | 89.1 %<br>(n=617)                                                                                                                                                                           | 88.5 %<br>(n=540) | 85.5 %<br>(n=525) |  |  | 93 % | 96 % |
| 算出方法                           | 小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「困った時、悩みがある時に相談する人がいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                  | <p>●実績値は、基準年に比べ、3.6ポイント下がり、前年度に比べ、3ポイント下がった。</p> <p>●学年別では、小学校4年生と中学校2年生以外は85%から90%が「相談する人がいる」と回答している。また男女比で見ると、女子は92.5%、男子は78.2%とこれも大きな差が出ている。相談相手は、学年が上がるにつれ「家族」から「友達」に移行していく傾向が見られる。</p> |                   |                   |                                                                                       |                                                                                       |      |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                                          | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                                                                          | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27 H32 |      |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 自主的に資質向上のために取り組んでいる教職員の割合    |                                                                                          |  | 84.5 %<br>(n=566)                                                                                                                                                                                                                                                   | 87.6 %<br>(n=644) | 85.9 %<br>(n=628) |  |  | 90 %           | 93 % |
| 算出<br>方法                     | 教職員対象のアンケート調査で、「自主的に資質向上(自己研鑽)に取り組んでいますか。」という設問に対して、『積極的に取り組んでいる』『まあまあ取り組んでいる』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、1.4ポイント上がり、前年度に比べ、1.7ポイント下がった。</p> <p>●年代別では、50歳以上が「積極的に取り組んでいる」が22.4%と他の年代をリードしている。50歳以上と20歳代のグループが、「まあまあ」を含めて「取り組んでいる」が90%前後になっているが、30、40歳代は82%台となっている。</p> <p>●多忙化の中、学校現場でミドルリーダーとして多くの業務と責任を持っている30、40歳代の教職員に研修に意識を向ける余裕があまりないのではないかと考えられる。</p> |                   |                   |                                                                                     |                                                                                     |                |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標     |                                   | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                          | 実績値<br>H23 | 実績値<br>H24 | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H23<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27 H32 |      |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 授業中にICTを活用して指導ができる教員の割合 |                                   |  | 70.1 %                                                                                                                                                                              | 79 %       | 87.6 %     |  |  | 85 %           | 95 % |
| 算出<br>方法                | 文部科学省による学校における教育の情報化の実態等に関する調査より。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、17.5ポイント上がり、前年度に比べ、8.6ポイント上がった。</p> <p>●国平均(67.5%)を20.1ポイント上回り、県平均(88.0%)を0.4ポイント下回った。実績値は、既にH27の目標値を超える結果となっている。</p> <p>●ICT活用に関する研修や環境整備等の充実が図られたことによると考えられる。</p> |            |            |                                                                                     |                                                                                     |                |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)     |                                                                                                                                                                                              | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                       | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H25       | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値<br>H27 H32 |      |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合 |                                                                                                                                                                                              |  | 47.4 %<br>(n=268)                                                                                                                                                                                                | 38.2 %<br>(n=118) | 60.2 %<br>(n=88) |  |  | 58 %           | 69 % |
| 算出<br>方法                         | 市民アンケート調査における属性で、小学生、中学生がいる人で、「子どもの学校での教育がしっかりできていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』『どちらかというと感じている』と回答した人の割合。<br><br>※H21(基準値)は、「子どもの学校での教育がしっかりできていると思いますか。」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                  | <p>●実績値は、基準年に比べ、12.8ポイント上がり、前年度に比べ、22ポイント上がった。</p> <p>●回答の内訳は、「どちらかというと感じていない」「感じていない」が合わせて17%で、「どちらともいえない」が22.7%であった。</p> <p>●「感じている」「どちらかというと感じている」とする人の割合が高くなったのは、学校で行われている取組みが地域や保護者に向けて周知できていることが考えられる。</p> |                   |                  |                                                                                       |                                                                                       |                |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策③ー1 教育要領・学習指導要領のねらいの具体化と確かな学力の向上(重点)

| 区分 | 事業名                          | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
| 重  | 学力向上支援事業                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上支援ソフト(※)の活用, 学習支援員(※)の配置等により, 児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図ることを目的に実施した。</li> <li>●学習支援ソフトについては, 研修会の開催により活用を促進し, 年間で市内の学校からの総アクセス数が245,514回あった。また, 学力向上支援員を, 小学校42校, 中学校8校に配置した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> <p>※学力向上支援ソフト:国語・算数(数学)・社会・理科・英語の基礎問題・活用問題を多数収録している学習ソフト<br/>         ※学習支援員:学力向上のため教員と共に, 授業等で個別支援を行う支援員</p> | 14,216      | 指導課 |
| 重  | 授業力アップ支援事業                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の授業力の向上を目的として実施した。</li> <li>●経験が豊富で, 優れた指導力をもつ退職教員等を授業力アップ支援員として委嘱し, 教員に指導方法や教材研究等について指導助言等の支援を行った。。小学校14校, 中学校4校を指定校とし, 計32回の公開授業を行い, 800人近くが参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                    | 2,771       | 指導課 |
| 重  | 【新】<br>少人数指導による「確かな学力」向上支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●県費の少人数加配が配置されない学校に市費で非常勤講師を配置し, つまづきが発生しやすい小学校3・4年生の算数及び中学校1年生の数学等の時間に少人数指導(習熟度別学習を含む)を市内全ての小・中学校で実施し, 児童・生徒の基礎学力の定着を図ることを目的に実施した。</li> <li>●市費の非常勤講師として, 小学校に25校30人, 中学校に9校9人配置した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                      | 61,148      | 指導課 |
| 重  | 【新】<br>放課後学習サポート事業           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校で放課後学習支援員を配置し, 学習内容の理解を深めるため, 学習支援ソフト等を活用して, 児童の状況に応じた学習支援を行い, 基礎基本の学力の定着を図ることを目的に実施した。</li> <li>●小学校61校153人の放課後学習支援員を配置した。</li> <li>●中学校への拡充を図り, 継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                               | 10,023      | 指導課 |
| 重  | 【新】<br>学校園支援ボランティア活用事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育・授業中の支援や放課後学習支援などの学校園の教育活動を支援するボランティアを学生や市民等から募集・登録し, 学校園のニーズに応じてボランティアを派遣する目的に実施した。</li> <li>●幼稚園26園46人, 小学校20校41人, 中学校6校25人派遣を行った。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                   | 152         | 指導課 |

|   |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |        |           |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|
| 重 | 教育用デジタルコンテンツ整備事業 | <p>●教師が日常的にICTを活用した授業を行い、学習指導要領で示された児童生徒の情報活用能力と学力向上や情報モラル・セキュリティ能力の育成を図ることを目的に、教育効果の高いデジタル教材の拡充整備を実施した。</p> <p>●平成24年度に引き続き、新学習指導要領に準拠した中学校英語と歴史のデジタル教科書、高等学校の情報モラル教育用コンテンツ(※)の整備を行った。</p> <p>●デジタル教科書を活用する支援を行いながら、次の教科書改訂時には更新を行うなど、事業を継続して実施する。</p> <p>※コンテンツ:データで表現された文章、画像、映像、音楽などメディア情報の中身のこと</p> | 20,441 | 情報学習⑤・指導課 |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|

※所属欄の⑤は「センター」の略 以下同じ

### 施策③ー2 進路指導、キャリア教育の充実

| 区分 | 事業名        | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                  | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | キャリア教育推進事業 | <p>●地域や産業界との連携、協力のもと、生徒の望ましい職業観や勤労観を育てることを目的に、中学校第2学年を対象に職場体験学習「倉敷チャレンジワーク14」を実施した。</p> <p>●倉敷市立中学校26校の第2学年4,483人が職場体験活動を行った。</p> <p>●地域に学び、ともに生きる心や感謝の心を育み、自立性を高めるなど「生きる力」を育成することができ、事業を継続して実施する。</p> | 2,237       | 指導課 |

### 施策③ー3 時代の進展に対応する教育の推進

| 区分 | 事業名                              | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                        | 決算額<br>(千円) | 所属          |
|----|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
|    | 教育用デジタルコンテンツ整備事業(再掲)             | <p>●教師が日常的にICTを活用した授業を行い、学習指導要領で示された児童生徒の情報活用能力と学力向上や情報モラル・セキュリティ能力の育成を図ることを目的に、教育効果の高いデジタル教材の拡充整備を実施した。</p> <p>●平成24年度に引き続き、新学習指導要領に準拠した中学校英語と歴史のデジタル教科書、高等学校の情報モラル教育用コンテンツ(※)の整備を行った。</p> <p>●デジタル教科書を活用する支援を行いながら、次の教科書改訂時には更新を行うなど、事業を継続して実施する。</p>      | 20,441      | 情報学習⑤       |
| 重  | 道徳教育総合支援事業(再掲)<br>【情報教育推進事業(再掲)】 | <p>●情報モラル、情報セキュリティに関する指導力、授業力の向上を目的に実施した。</p> <p>●文部科学省道徳教育総合支援事業補助金を活用して、専門性の高い講師を招聘して全校研修及び校内研修を実施した。道徳教育推進教師対象全体研修4回、小学校初任者研修各1回、希望した8校での校内研修23回を開催。参加教員総数は992人であった。</p> <p>●関係課と連携し、教員の道徳教育の指導力や授業力を高めることと、家庭教育と連携したPTA研修による情報モラル教育の推進を目的に、継続して実施する。</p> | 11,871      | 教育情報⑤・学習指導課 |

|  |                 |                                                                                                                                                                                                                             |         |     |
|--|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----|
|  | 外国人英語講師<br>配置事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●国際化の進展に対応し、児童生徒に国際理解の基礎を培い、英語によるコミュニケーション能力を育成するため、外国人英語講師を雇用・配置し、英語教育の充実を図る目的で実施した。</li> <li>●平成25年度は35人の外国人英語講師を雇用・配置した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                           | 189,570 | 指導課 |
|  | 英語教育推進事業        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●倉敷市長杯中学生英語スピーチコンテストを開催し、英語教育の動機付けを行う目的で実施した。</li> <li>●倉敷市長杯中学生英語スピーチコンテストでは、27校から29人の生徒が参加した。</li> <li>●本市がこれまで取り組んできた英語教育の成果や課題等を検証するとともに、今後在り方等について総合的に検討して、継続して実施する。</li> </ul> | 329     | 指導課 |

#### 施策③ー4 人権教育、道徳教育の推進(再掲)

| 区分 | 事業名               | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                             | 決算額<br>(千円) | 所属               |
|----|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------|
|    | 学校園人権教育<br>課題研究事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育にかかわりの深い人権課題等について、実践的研究を進めその成果を各学校園の人権教育の推進に生かすことを目的に実施した。</li> <li>●「いじめを生まない、人権尊重の理念を生かした学校づくり」を研究主題に小学校6校、中学校4校で研究を行い、その研究成果を実践事例集としてまとめ市内の学校へ配布した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 731         | 人権<br>指導課<br>推進室 |

#### 施策③ー5 幼稚園教育の推進

| 区分 | 事業名           | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                               | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 幼稚園指導力アップ支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●経験が豊富で、優れた指導力や管理力をもつ退職園長等を幼稚園指導力アップ支援員として任用し、園長や教諭等に指導方法や直面する課題等について指導・助言等の支援を行い、教員の指導力の向上を目的として実施した。</li> <li>●6園を指定園とし、各園1回ずつ計6回の公開保育を行い、約90人が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                        | 693         | 指導課 |
|    | 幼稚園子育て支援事業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域に開かれた幼稚園づくりを推進し、幼児に「生きる力」を育むとともに、「地域における幼児期の教育センター」としての役割を果たし、積極的に子育ての支援を行う目的で実施した。</li> <li>●地域の人との交流や未就園児への園庭開放などを行った。また、カウンセラーによる子育て相談を8拠点園で行った。</li> <li>●幼稚園には、地域における幼児期の教育センターとしての役割が求められているため、継続して実施する。</li> </ul> | 1,230       | 指導課 |

|  |              |                                                                                                                                                                                                                        |         |     |
|--|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----|
|  | 幼稚園就園奨励補助事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●私立幼稚園への通園児保護者の経費負担軽減を目的として、国から補助を得て私立幼稚園に対し補助金を交付する。</li> <li>●平成25年度市民税所得割額が基準額以下の世帯を対象とする。<br/>平成25年度対象園児数 2,016人</li> <li>●平成27年度からは、新制度へ移行しない私立幼稚園へのみ継続して実施する。</li> </ul>  | 211,036 | 学事課 |
|  | 幼稚園預かり保育実施事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●園児の心身の健全な発達を図るとともに、保護者の子育てを支援することを目的に実施した。</li> <li>●保護者が就労している場合などに保育時間を延長する預かり保育を、中洲幼稚園、連島東幼稚園の2園で試行を継続し実施した。</li> <li>●平成26年度より、大高幼稚園、葦高幼稚園、庄幼稚園を加えた5園にて本格実施とする。</li> </ul> | 1,924   | 学事課 |

### 施策③ー6 校種間連携の推進と学校問題の解決(再掲)

【施策②ー3に同じ】

### 施策③ー7 開かれた、信頼される学校園づくり

| 区分 | 事業名           | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 地域連携による学校支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。</li> <li>●小学校区13か所、中学校区8か所で事業を実施した。ボランティア登録総人数は1,292人、延べ31,733人のボランティアが学習支援や環境整備などの学校支援活動に参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 10,305      | 生涯学習課 |

### 施策③ー8 教職員の資質・指導力の向上

| 区分 | 事業名        | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算額<br>(千円) | 所属      |
|----|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|
|    | 教育センター研修事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園、小・中学校、特別支援学校、高等学校等の教育関係職員の指導力・資質の向上を目指し、各種研修を実施した。</li> <li>●ライフステージに合わせた経験年数別研修(初, 5年, 10年, 15年)では今年度さらにフォローアップ(2年目)研修を立ち上げ、年間45回、延べ3,245人、専門性を高める課題別研修(特別支援教育、幼児教育等)は年間45回、延べ2,542人が受講した。</li> <li>●受講後のアンケートにより、受講者の理解や満足度あるいはニーズを把握しながら、より充実した研修となるよう事業を継続して実施する。</li> </ul> | 1,028       | 教育⑦・指導課 |

|  |        |                                                                                                                                                                                                                            |       |     |
|--|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
|  | 研究指定事業 | <p>●当面する教育上の諸問題の解決を目指して、各校園種ごとの研究指定校が2年間の研究実践に取り組み、研究の深化・充実を図り、本市の教育の親展に資する目的で実施した。</p> <p>●幼稚園2園、小学校2校、中学校2校、高等学校2校を指定校とし、各校園で研究内容を設定し、幼児・児童・生徒の実態に応じた研究に取り組んだ。また、研究2年目の4校園においては研究内容を発表する研究発表会を開いた。</p> <p>●継続して実施する。</p> | 1,222 | 指導課 |
|--|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|

### 施策③ー9 子どもの健康管理・安全管理体制の充実

| 区分 | 事業名      | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 学校健康管理事業 | <p>●幼児児童生徒が心身ともに健康であるために、定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努める。教職員の健康管理にも努め、健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずる。環境衛生検査を実施し、健康的で快適な学習環境の確保に努める。</p> <p>●内科医167人、眼科、耳鼻科、歯科医各150人、学校薬剤師148人を委嘱し、児童生徒、教職員の定期健康診断を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努めることができた。飲料水の水质検査等を実施し、適切な環境の維持に努めた。</p> <p>●継続して実施する。心臓検診については、精度をあげるため、心電図を4誘導から12誘導への変更を、倉敷市連合医師会と検討し、一部の中学校で実施できたので、さらに対象校を拡大していく。</p> | 245,726     | 保健体育課 |
|    | 武道授業の充実  | <p>●武道必修化を受け、武道についての授業の充実を図るとともに、安全管理の徹底を図る。</p> <p>●中学校1校で、外部指導者を活用した授業実践に基づく公開授業を行った。</p> <p>●県主催の講座や講習会、校内での研修等を通じて、より一層の指導の向上を図る。また、事故防止に向け、体制づくりと安全に配慮した授業づくりを推進していく。</p>                                                                                                                                                                        | —           | 保健体育課 |

### 施策③ー10 防災教育の推進

| 区分 | 事業名     | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 防災教育の推進 | <p>●子どもたちが防災意識を高めるとともに、災害時に迅速かつ適切な行動が取れるようになることを目的に実施した。</p> <p>●全学校園の防災マニュアルを提出回収した。また、避難経路や二次避難場所の確認をするとともに、地域の実態に合わせた防災教育を進めた。</p> <p>近隣の学校園と合同で避難訓練を行ったり、家族で話し合う場を設けたり、保護者を交えての訓練や保護者への引渡しの方法を確認したりする等の様々な取組が行われた。</p> <p>●緊急地震速報の周知やそれを活用した訓練を実施し、児童生徒が主体的に行動する態度を身に付け、自分の身の安全を守る能力の育成を図っていく。</p> | —           | 保健体育課 |

施策③-11 安全・安心な教育施設の提供と教育環境の充実

| 区分 | 事業名               | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                     | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 小・中学校校舎等耐震化事業     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小中学校校舎等の耐震補強工事を行い、安全安心な環境を提供することを目的に実施した。</li> <li>●小中学校12校の校舎の耐震補強工事等を実施し、耐震化率が80.1%となった。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                         | 2,351,952   | 教育施設課 |
|    | 小中学校校舎等建替事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽化等により耐震性のない校舎等を建て替えることにより、安全安心な環境を提供することを目的に実施した。</li> <li>●万寿小学校校舎の一部建替工事を実施するとともに(H26年度完成予定)、玉島南小学校・福田中学校の校舎を建て替えるための実施設計を行った。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 284,473     | 教育施設課 |
|    | 幼稚園園舎等耐震化事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園の園舎等の耐震化を行い、安全安心な環境を提供することを目的に実施した。</li> <li>●幼稚園12園の耐震2次診断及び4園の耐震補強計画・実施設計業務が完了した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                             | 43,850      | 教育施設課 |
|    | 特別支援学校校舎等耐震化事業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援学校の校舎等の耐震化を行い、安全安心な環境を提供することを目的に実施した。</li> <li>●校舎及び屋内運動場の耐震2次診断を実施した。(平成26年度完了)</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                               | 6,382       | 教育施設課 |
|    | 老松小学校校舎建替事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽化した老松小学校の校舎を建て替えることにより、安全安心な環境を提供することを目的に実施した。</li> <li>●新校舎の建設工事を実施した。(H26年度完成予定)</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                               | 534,077     | 教育施設課 |
|    | 茶屋町小学校校舎等建設事業     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●茶屋町小学校の給食調理場及び校舎を増築することにより、児童数の増加に対応することを目的に実施した。</li> <li>●給食調理場の増築工事が完了し、校舎の増築工事を実施した。(H26年度完成予定)</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                | 611,920     | 教育施設課 |
|    | 小・中学校屋内運動場トイレ改修事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時に避難所となる小・中学校の屋内運動場のトイレの洋式化を計画的に進め、児童生徒のほか高齢者などがトイレを利用しやすい環境を整備することを目的に実施した。</li> <li>●小学校9校・中学校6校の屋内運動場用トイレに洋式トイレを整備した。</li> <li>●継続実施する。</li> </ul>           | 17,363      | 教育施設課 |

|  |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |             |
|--|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------|
|  | 中学校武道場整備事業                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●武道場の無い中学校に武道場を整備することにより、武道の必修化に対応することを目的として実施した。</li> <li>●真備東中学校・船穂中学校の武道場建設工事を実施した。</li> <li>●市立中学校全校に武道場が整備され、本事業は完了した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                | 249,196 | 教育施設課       |
|  | 学校園庭芝生化・壁面緑化事業                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校園の緑化、子どもたちが裸足で自由に遊べる場の提供、子どもたちに地球温暖化防止や自然の大切さ、身近な緑に関心を持たせることを目的に実施した。</li> <li>●琴浦東小学校、連島神亀小学校、箭田小学校の校庭に芝生の植栽を実施した。市立の全学校園で壁面緑化を実施した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                               | 8,812   | 教育教育企画施設総務課 |
|  | 学校・園夏季対策事業                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●園児・児童にクールダウン場所を設け、夏季の暑さ対策とすることを目的に実施した。</li> <li>●市立幼稚園・小学校に簡易式ミストシャワーを設置した。</li> <li>●効果を検証した上で、事業の見直しなどを検討する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           | 1,819   | 教育施設課       |
|  | 教育用コンピュータ整備事業                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちの情報活用能力の育成と、教員の情報通信技術を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を図ることを目的として実施した。</li> <li>●中学校8校・小学校4校・高等学校1校の教育用コンピュータ機器等の更新整備を実施した。</li> <li>●子どもたちの学力向上を推進できる教育環境を整備するために、新しい情報機器の研究を行うことや、文部科学省の示す第2期教育振興基本計画に基づいた「教育のIT化に向けた環境整備」で目標とされている水準値の達成に向けて、各校の機器更新の際に計画的に取り組むなど、今後の情報機器環境を充実させるために、事業の拡大を検討する。</li> </ul>                               | 220,044 | 情報学習⑤       |
|  | ネットワーク・システム整備事業                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校園と生涯学習施設、教育委員会におけるネットワーク(校務用・教育用・図書館用)やそれを利用して使用する各システム(教育用システム・学校園事務システム・総合情報配信システム・校門監視カメラシステム・図書館システム等)の整備と保守を行い、セキュリティおよび安定稼働を目的として事業を実施した。</li> <li>●各システムの運用支援、基幹サーバやネットワークについては、故障・障害時に迅速に対応できるように保守委託等を実施した。</li> <li>●ネットワークを利用して、各施設でシステムを利用して行う業務やサービスが安定した運用を行えるよう、また計画的な更新を行なうなど、本事業を継続して実施する。</li> </ul>             | 153,207 | 情報学習⑤       |
|  | 学校園事務ネットワーク・システム整備事業【ネットワークシステム整備事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成15年度から使用しているシステムで、教育委員会と学校園とで情報を共有するためのグループウェアとしての機能や、学校経営に必要な学籍・備品・学校保健・学校給食等の管理機能を持っており、教育委員会や学校園で日常的に業務に使用している。このシステムを継続使用し、業務が安定的に行うことを目的に、学校園事務ネットワークシステムの更新事業を実施した。</li> <li>●各システムを使用して業務を行っている担当課と検討体制を確立し、システム更新の仕様や調達方法などについて協議を行い、更新事業を行なった。</li> <li>●平成26年度末の運用開始に向けて、担当課職員と各システムの仕様確認等を行うなど、本事業を継続して実施する。</li> </ul> | —       | 情報学習⑤       |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |       |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| ICT活用授業サポーター派遣事業【情報教育推進事業(再掲)】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたち1人1台のコンピュータを活用する授業で、ICT機器の様々なトラブルに対して即座に対処できる専門的技量を要するICT活用授業サポーターを派遣することで、教員が授業内容に専念して子どもたちの情報活用能力を確実に育成することを目的として実施した。</li> <li>●小学へは1校あたり3～12回、中学校へは1校あたり2回、中学校の研究推進校3校へは各20回、特別支援学校へは4回、サポーターを派遣した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 8,505 | 情報学習⑦ |
| 校務用コンピュータ整備事業【教育用コンピュータ整備事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教員が子どもたちに対してきめ細やかな指導を可能にするとともに、教員が子どもたちと向き合う時間や教員が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、ひいては、教育の質の向上と学校経営の改善を推進するために、教員1人1台の成績等の個人情報扱う校務用コンピュータの整備と保守を目的として実施した。</li> <li>●安定した運用ができるように保守業務を行なった。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                           | 0     | 情報学習⑦ |

### 基本施策③の「課題」「今後の取り組み方針」「学識経験者の意見」

#### 課 題

- 学力・学習状況調査の結果等から、基礎学力の定着不足や学習に対する意欲が十分でないことが、本市の全体的な課題としてあがってきており、これまでの施策の見直しや強化、学力向上に対する効果的な施策の推進が必要である。
- 社会環境の変化に伴い、学校教育に求められるものがより複雑化・多様化しており、様々な課題解決のためには、関係機関・団体との連携を強化することで、学校運営を充実させることが求められている。
- 現在、日常的にICTを活用した授業ができる環境が整備されているので、全教員が効果的に活用できることが求められている。
- 子どもたちや保護者はもとより、地域からも信頼される学校づくり、質の高い教員の育成等が求められている。
- 子どもたちの安全安心を確保するため、小中学校・幼稚園・特別支援学校の耐震化に加え、高等学校の耐震化にも取り組んでいく必要がある。

#### 今後の取り組み方針

- 「わかる授業」のための授業改善や、基礎基本の徹底を核として確かな学力の向上を図る。そのために、学校へのマンパワーの更なる導入や放課後学習支援等の補充学習の在り方等についても検討・推進していく。
- 学習支援ソフトを効果的に活用する学力向上支援事業をさらに充実させるとともに、授業の質の向上に効果がある授業力アップ支援事業の後継事業についても検討していく。
- 保護者や地域の方々が教育活動の支援や学校美化活動等に積極的に参加できるよう、校内の体制づくりに努めるとともに、地域連携による学校支援事業実施校の実績報告などを参考に事業効果を積極的にPRし、事業実施校の増加を目指す。
- 教員・児童生徒が日常的なICT活用ができるようにするとともに、新学習指導要領に準拠して、授業で活用するデジタルコンテンツ等のソフトウェアの更新や整備を進めていく。
- 学校の取組等の情報を、保護者や市民に文書、HP等の方法で積極的に広報し、開かれた学校づくりを進めるとともに、教職員の研修をさらに充実させ専門性や授業力の向上を図り、子どもたちの「生きる力」を育むため、わかりやすく質の高い授業の実現を進める。
- 文部科学省が示す「教育のIT化に向けた環境整備」の計画で目標とされている情報機器の整備を計画的に進め、教員・児童生徒が日常的なICT活用ができるようにするとともに、新学習指導要領に準拠して、授業で活用するデジタルコンテンツ等の更新を進めていく。
- 平成27年度までに、小中学校・特別支援学校の校舎等の耐震化を完了させることを目指す。また、幼稚園の園舎等の耐震化を計画的に行い、高等学校の耐震化の進め方を検討する。

●学校園を地域に開き、教職員一人一人が自ら資質向上に努めるとともに、校園長を中心に一丸となって学校園が組織的な取組を進め、子どもたちのよりよい成長が図られていくようになることが、保護者や地域に信頼される学校園をつくっていくことになる。学校園を一層地域等を開き、地域等の協力もいただきながら、一緒になってがんばっていただきたい。

●「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合は、少しずつ改善されてきており、市教委としての取組の成果が少しずつ出てきているものと思う。

●学力の向上や児童生徒の落ち着いた環境づくりのために、市教委としてマンパワーを充実させ、ソフトやハード面の整備に向けて様々な事業を展開しておられる。こうしたすばらしい取組を継続し、一層推進していくことが、児童生徒の望ましい変容に繋がっていくと考える。

●学校園の耐震化は喫緊の課題であり、市教委として耐震化完了の目標設定をして取り組むことは、たいへん望ましい。防災で大切なことは施設の整備とともに、災害時に子どもたちがどのような行動がとれるかである。こういう視点に立つと、防災教育がきわめて重要になってくる。避難訓練などを重ね、地域の実態を踏まえた防災教育の充実を図っていただきたい。

## 基本施策④

### 障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる体制を整える

#### 担当部署

指導課，学事課，教育企画総務課

#### 施策に対する考え方

障がいのある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進します。

また、障がいのある子どもが、それぞれのライフステージに応じた一貫した支援を受けることができ、将来自立して生活していけるよう、関係機関や団体などと連携した支援体制や進路指導の充実を図ります。

#### 数値目標

| 評価指標(総合計画 指標)                     |                             | 目指す方向性                                                                              | 基準値                                                                                                                 | 実績値   | 実績値     | 基準値からの傾向                                                                              | H24からの傾向                                                                              | 目標値   |         |
|-----------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|
|                                   |                             |                                                                                     | H23                                                                                                                 | H24   | H25     |                                                                                       |                                                                                       | H27   | H32     |
| 特別支援教育に関する学習会・研修会への教職員の参加者数(人/年度) |                             |  | 911 人                                                                                                               | 965 人 | 1,079 人 |  |  | 950 人 | 1,000 人 |
| 算出方法                              | 特別支援教育に関する学習会、研修会へ参加した教職員の数 | 分析                                                                                  | <p>●実績値は、基準年に比べ、168人増え、前年度に比べ、114人増えた。</p> <p>●関係機関との連携による学習会・研修会開催の周知の工夫や研修内容の充実を図ったことにより、参加者数が増加してきていると考えられる。</p> |       |         |                                                                                       |                                                                                       |       |         |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)                |                                                                                               | 目指す方向性                                                                              | 基準値                                                                                                                                                                                                     | 実績値               | 実績値               | 基準値からの傾向                                                                              | H24からの傾向                                                                              | 目標値  |      |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
|                                             |                                                                                               |                                                                                     | H21                                                                                                                                                                                                     | H24               | H25               |                                                                                       |                                                                                       | H27  | H32  |
| 特別支援教育を必要とする児童生徒への相談・指導体制が充実してきていると思う教職員の割合 |                                                                                               |  | 47.2 %<br>(n=566)                                                                                                                                                                                       | 56.7 %<br>(n=644) | 57.3 %<br>(n=628) |  |  | 60 % | 72 % |
| 算出方法                                        | 教職員対象のアンケート調査で、「特別支援教育を必要とする児童・生徒への相談・指導体制が充実してきていると思いますか。」という設問に対し、『とてもそう思う』『そう思う』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                  | <p>●実績値は、基準年に比べ、10.1ポイント上がり、前年度に比べ、0.6ポイント上がった。</p> <p>●年代別では、50歳以上が62%を、40歳代が57.4%、30歳代が55.7%、20歳代が53.5%となっている。</p> <p>●平成22年度から、教育委員会指導課内に特別支援教育推進室を設置するなど、体制の充実を図ってきたことなどにより、指標値が改善してきていると考えられる。</p> |                   |                   |                                                                                       |                                                                                       |      |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)  |                                                                                                                                                                                                                                                       | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                                          | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H25     | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値<br>H27H32 |      |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------|
| 特別支援教育について理解が進んでいる<br>と思う人の割合 |                                                                                                                                                                                                                                                       |  | 49.3 %<br>(n=268)                                                                                                                                                                                                                   | 24.6 %<br>(n=118) | 58 %<br>(n=88) |  |  | 60 %          | 72 % |
| 算出<br>方法                      | 市民アンケート調査における属性で、小学生、中学生がいる人で、「障がいのある幼児児童生徒を指導・支援する特別支援教育について知っていますか。」という設問に対して『知っている』と回答した人の割合。<br><br>※H21(基準値)は、「障がいのある幼児児童生徒を指導・支援する特別支援教育について知っていますか。」という設問に対して『知っている』と回答した人の割合。<br>※H24は、「特別支援教育について知っていますか。」という設問に対して、『聞いたことがありますか。』と回答した人の割合。 | 分析                                                                                | ●実績値は、基準年に比べ、8.7ポイント上がり、前年度に比べ、33.4ポイント上がった。<br>●回答の内訳は、「知っている」が58%、「聞いたことはあるがよく知らない」が37.5%、「知らない」が4.5%であった。<br>●前年度からの指標値の上昇は、アンケートの設問をH21(基準年)実施時に戻すよう変更したことによる。H21(基準年)からの指標値の改善は、特別支援教育の充実に向けて、各学校において積極的に取り組んでいることによるものと考えられる。 |                   |                |                                                                                     |                                                                                     |               |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標 |                                                                                                                                                             | 目指す<br>方向性                                                                         | 基準値<br>H22                                                                                                                                  | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向                                                                         | H24<br>からの傾向                                                                         | 目標値<br>H27H32 |      |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------|
| 個別の指導計画を作成している学校園   |                                                                                                                                                             |  | 70.4 %<br>(n=136)                                                                                                                           | 75.5 %<br>(n=139) | 85.6 %<br>(n=132) |  |  | 80 %          | 90 % |
| 算出<br>方法            | 文部科学省12月実施の「特別支援教育体制整備状況調査」のうち、「発達障害を含む障がいのある幼児児童生徒の個別に指導計画を作成していますか。」という設問に対して「作成している」と回答した学校園の割合。<br>(ただし、学校園の総数からは、発達障害を含む障がいのある幼児児童生徒が在籍しない学校園数は除いている。) | 分析                                                                                 | ●実績値は、基準年に比べ、15.2ポイント上がり、前年度に比べ、10.1ポイント上がった。<br>●12月実施の調査のため、「個別の指導計画を作成していないものの今年度中には作成予定である。」と回答した学校園を加えると、年度末ではさらに10ポイント程度は上がっていると思われる。 |                   |                   |                                                                                      |                                                                                      |               |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標                    |                                                                                                              | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H22                                                                                                                                                 | 実績値<br>H24      | 実績値<br>H25       | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値<br>H27H32 |      |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------|
| 特別支援教育コーディネーター研修会の<br>受講者の満足度(大変満足の割合) |                                                                                                              |  | 76 %<br>(n=87 )                                                                                                                                            | 73 %<br>(n=116) | 75 %<br>(n= 209) |  |  | 80 %          | 85 % |
| 算出<br>方法                               | 研修会終了後の教職員対象のアンケート<br>で、研修会で「大変満足」と回答した割合。<br><br>※特別支援教育コーディネーター:学校と外<br>部関係機関との調整役、学校での相談窓口<br>及び研修の運営・推進役 | 分析                                                                                  | ●実績値は、基準年に比べ、1ポイント下がり、前年度に比べ、2<br>ポイント上がった。<br>●H25度は、学校現場でニーズの高い「特別支援教育から考<br>えるユニバーサルデザインの授業づくり」について、著名な講師<br>を招き、より実践的な研修内容を構成したことが満足度向上に<br>奏効したと思われる。 |                 |                  |                                                                                       |                                                                                       |               |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策④ー1 支援体制の確立と個に応じた支援の充実

| 区分 | 事業名           | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算額<br>(千円) | 所属              |
|----|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----------------|
|    | 特別支援教育専門家派遣事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●専門的知識を有する学識経験者、臨床心理士、福祉関係者等の専門家スタッフが、学校園の要望や幼児児童生徒の実態に応じて継続的に学校園を訪問し、指導・助言等を行い、特別支援教育の一層の充実を図ることを目的に実施した。</li> <li>●学校園派遣回数は、幼稚園68回、小学校312回、中学校145回、高校8回、その他15回で計548回(前年度比130回増)。年々、学校園からの依頼が増加している。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                 | 969         | 指導課             |
|    | 学校・園生活支援員配置事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がいのある幼児児童生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるよう、生活支援が担任等と一体となり温かい支援を行い、教育活動の一層の充実を図ることを目的として実施した。</li> <li>●市内の学校園に、豊富な社会経験や職業経験をもつ社会人を生活支援員として、幼稚園に23人、小学校に107人、中学校に19人、高等学校に3人、特別支援学校に12人配置した。</li> <li>●障がいのある幼児児童生徒は年々増加している。今後も、幼児児童生徒や学級の実態に応じ、支援員の増員やボランティアの活用による事業の拡大を検討する。</li> </ul>                                    | 134,566     | 学事課             |
|    | 通級指導推進事業      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●通級指導(※)の充実、言語や情緒面で課題のある幼児児童生徒へ個別に指導することを目的として実施した。</li> <li>●通級指導教室(※)及び幼児指導教室を設置する幼稚園に5人、小学校に9人、中学校に1人の非常勤講師等を配置し、特別支援教育の充実を図った。</li> <li>●個に応じた指導が必要な幼児児童生徒の実態に応じ、非常勤講師を増員することによる事業の拡大を検討する。</li> </ul> <p>※通級指導:通常の学級に在籍し、週1回程度通級指導教室での個々のニーズに応じて特別な指導を受けること<br/>         ※通級指導教室:通級指導を行う市内の7小学校と1中学校に設置した教室</p> | 37,333      | 教育企画・総務課<br>指導課 |

### 施策④ー2 適切な就学指導・就学相談の充実

| 区分 | 事業名       | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                            | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 就学相談員配置事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者及び学校からの相談に応じ、適切な就学指導を進めることを目的として実施した。</li> <li>●特別支援教育推進室へ就学相談員(※)を配置し、常時相談に対応するとともに、就学相談会を全14回実施し、174組の親子が参加した。</li> <li>●就学予定者と関わり深い保健所や総合療育相談センターとの連携を強めながら継続して実施する。</li> </ul> <p>※就学相談員:児童生徒の実態に応じた教育の場について、保護者や学校から相談を受ける職員</p> | 1,940       | 指導課 |

### 施策④ー3 関係機関や団体などとの連携

| 区分 | 事業名        | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                             | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 特別支援教育推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●センター的機能を果たす特別支援学校への研修委託，啓発活動を行い，特別支援教育の一層の充実を図ることを目的に実施した。</li> <li>●特別支援学校が，センター的機能を果たすために，公開講座を3回実施（参加者825人），巡回相談を40回実施。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 857         | 指導課 |

### 基本施策④の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

#### 課題

- 特別支援学校，特別支援学級，通常学級それぞれに在籍する特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の増加や，障がいの重度・重複化などにより，一人一人の状態に応じた適切な教育や支援のさらなる充実が求められる。
- 障がいのある幼児・児童・生徒一人一人の能力，適性などに対応し，その能力を最大限に伸ばすために教職員の資質，指導力の向上が求められる。
- 障がいのある子どもが，自立した生活を送ることができるようにするために，個々の実態にあった進路指導の充実や就労確保が求められる。

#### 今後の取組み方針

- 障がいのある幼児・児童・生徒一人一人の状態に応じた巡回相談や専門家派遣等をさらに充実させ，学校園への支援に努める。
- 特別支援学校，特別支援学級，通常学級それぞれに在籍する特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の学力向上や自立支援のために，個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成・活用を推進するとともに，教職員の資質，指導力の向上のための教職員研修の充実を図る。
- 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒のキャリア教育を推進するとともに，関係機関や団体などと連携して進路指導の充実を図る。

#### 学識経験者の意見

- 障がいのある幼児・児童・生徒の一人一人がその可能性を最大限に伸ばすために，現在実施されている特別支援教育専門家派遣事業，通級指導推進事業そして学園・園生活支援員配置事業が効果をあげているが，障がいのある幼児児童生徒は年々増加していることから，さらなる拡大と充実を期待する。
- 障がいのある幼児・児童・生徒の一人一人の個性を尊重し，その能力の向上を図り，自立を支援していくためには，個別の教育・生活支援計画を作成し，実施し，評価していくことが重要である。このような個別の指導を実施できる教員を養成するためにより実践的な内容の教職員研修の充実とともに，特別支援教育専門家派遣事業などを活用し，教員同士や，学校と外部関係機関が連携し協働できる体制を確立してほしい。
- 障がいのある子どもが自立した生活ができるように実施されている就学相談員配置事業のさらなる充実を期待する。障がいのある子どものそれぞれのライフステージに応じた支援を進めていくためには，特に幼児から児童，児童から生徒，学校卒業後などの移行には，教育・医療・福祉の関係機関や団体の連携が不可欠なので，このような組織づくりと運営を期待する。また，障がいのある子どもに対する市民への理解をより深めるためにも，関係機関や団体が連携して啓発活動の充実を図ることが大切である。

## 基本施策⑤

### 市民の健全な食生活を推進する

#### 担当部署

保健体育課

#### 施策に対する考え方

子どもの頃から豊かな自然の恵みによって得られる「食」を大切にする心の育成や、バランスのとれた食生活への改善に向けた取組を行います。

また、給食における地場産物の利用を高めるなど、子どもの発達段階に応じて「食」に関する指導の充実を図っていきます。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                      | 目指す<br>方向性                                                                         | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                                      | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                         | H24<br>からの傾向                                                                         | 目標値  |      |
|------------------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
|                              |                                                      |                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                 |            |            |                                                                                      |                                                                                      | H27  | H32  |
| 学校給食の地場産食材使用品目の割合            |                                                      |  | 58 %                                                                                                                                                                                                                            | 61.2 %     | 60.3 %     |  |  | 63 % | 72 % |
| 算出<br>方法                     | 岡山県産品目数／全使用品目数×100<br>※調査期間中(6月, 11月の各第3週)のもの<br>が対象 | 分析                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値は、基準年に比べ、2.3ポイント上がり、前年度に比べ、0.9ポイント下がった。</li> <li>●季節に合わせて、安全安心な地元産食材を多く使用する献立を作成し、県内でも使用率の上位を維持している。</li> <li>●瀬戸内海産海産物の漁獲量の減少や天候による野菜類の収穫量減少があり、献立に取り入れにくいことが今後の課題と思われる。</li> </ul> |            |            |                                                                                      |                                                                                      |      |      |

### 施策を推進する主な事業の評価

#### 施策⑤－1 食に関する指導・啓発

| 区分 | 事業名      | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                   | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 学校給食運営事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●安全・安心な学校給食を児童生徒に提供することを目的に実施した。</li> <li>●単独方式の学校(63校)の給食調理場の施設、備品の管理運営を行い、給食を実施した。給食の実施により、児童生徒の健康保持に寄与し、望ましい食習慣を養うこと等食育が推進された。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 1,070,446   | 保健体育課 |

|  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |         |       |
|--|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------|
|  | 共同調理場管理事業     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●安全・安心な学校給食を児童生徒に提供することを目的に実施した。</li> <li>●共同調理場の施設設備及び給食備品の管理運営を各所長とともにやり、給食を提供した。給食の実施により、児童生徒の健康保持に寄与した。また、「ふれあい訪問」を実施し望ましい食習慣を養う等の食育が推進された。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                            | 233,964 | 保健体育課 |
|  | 学校給食における食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が、「食」の正しい知識を身に付け、健康な食生活ができることを目的として実施した。</li> <li>●食育推進のため導入した「くらしき市版ヘルスジャッジ」(※)は、各栄養教諭・学校栄養職員を中心として活用した。児童生徒は、自身の食生活を見直すきっかけとなり、食の意識向上に役立っている。</li> <li>●栄養教諭の配置人数増加もあり、食育を継続して実施し、効果的な実績をあげる。</li> </ul> <p>※倉敷市版ヘルスジャッジ: 倉敷市内の学校で使用されている、必要な栄養バランスが分かる食事診断ソフト</p> | —       | 保健体育課 |

## 基本施策⑤の「課題」「今後の取り組み方針」「学識経験者の意見」

### 課題

- 食育の正しい知識と食習慣は、小・中学校と長期にわたって指導する必要がある。
- 給食調理場のドライ運用化を維持する。
- 老朽化した給食調理場の更新も含めた維持管理。
- 学校給食の地場産食材使用品目の割合を高い水準で維持する。

### 今後の取り組み方針

- 学校給食の献立を活用した食育を全小学校、中学校で継続して実施していく。
- 給食調理場について、老朽化及びドライ運用継続に向けての設備・備品の修繕・更新を行う。
- 老朽化した給食調理場の建替えについて、早急な計画・検討をしていく。
- 季節に合わせて、安全安心な地場産食材を多く使用する献立を作成していく。

### 学識経験者の意見

- 給食の実施は、子どもたちの健康増進だけではなく、食習慣の形成、食文化の理解や促進などの食育の充実のために重要である。また、今日「子どもの貧困」対策が課題になってきているので、給食が子どもの食生活を保障するために果たす役割は大きくなってきている。学校給食運営事業、共同調理場管理事業などさらなる拡大と充実を期待する。
- 食育ソフト「倉敷市版ヘルスジャッジ」を導入して小・中学生に授業を実施した学校では、教員と栄養士の連携が深まり、児童生徒に対する指導校効果があがっていることから、全小・中学校に拡大し、充実を図っていくことを期待する。
- 食育教育については、保護者との連携も必要である。学校で取り組んでいる学校給食について保護者に伝えとともに、協力して食育に取り組んでほしい。また、食育を推進している団体もあるので、関連機関との連携も必要である。

## 基本施策⑥

### 安心とゆとりをもって、楽しく子育てできる環境を整える

#### 担当部署

生涯学習課，中央図書館

#### 施策に対する考え方

子育ての不安や悩みを解消し，安心とゆとりをもって子育てを楽しめるよう，子育てをサポートする環境を整えます。

また，子育てに関する情報の提供や相談体制の充実を図ります。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標 |                                                              | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                            | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値    |         |
|---------------------|--------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|--------|---------|
|                     |                                                              |            |                                                                                                                                                                       |            |            |              |              | H27    | H32     |
| 家庭教育学級参加者数          |                                                              |            | 7,882 人                                                                                                                                                               | 10,277 人   | 10,576 人   |              |              | 9,000人 | 10,000人 |
| 算出<br>方法            | 家庭教育学級に参加した人の数(延べ人数)<br>※地域団体は子どもを含む全参加者数<br>※幼稚園は保護者等大人のみ計上 | 分析         | <p>●実績値は，基準年に比べ，2,694人増加し，前年度に比べ，299人増加した。</p> <p>●基準年以外は，既に目標値を超える結果となっている。</p> <p>●地域団体が開設した家庭教育学級で，著名な講師を招いた講演や親子で参加できるふれあいイベントなどを実施したことが参加者数増加の要因となっていると思われる。</p> |            |            |              |              |        |         |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                                                                                                                                                      | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                         | 実績値<br>H24      | 実績値<br>H25         | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------|--------------|--------------|------|------|
|                              |                                                                                                                                                                                                      |            |                                                                                                                                                                                                                    |                 |                    |              |              | H27  | H32  |
| 楽しく子育てできていると感じている人の割合        |                                                                                                                                                                                                      |            | 31.3 %<br>(n=335)                                                                                                                                                                                                  | 32 %<br>(n=153) | 43.9 %<br>(n=1768) |              |              | 46 % | 62 % |
| 算出<br>方法                     | 就学前児童を持つ保護者，小学生を持つ保護者へのアンケート調査で，「子育ては楽しいですか。」という設問に対して，『楽しい』と回答した人の割合。【倉敷市次世代育成支援後期行動計画アンケート調査】<br><br>※H24までは，市民アンケート調査における属性で，就学前または小学生を養育している人で，「楽しく子育てできていると感じていますか。」という設問に対して，『感じている』と回答した人の割合。 | 分析         | <p>●実績値は，基準年に比べ，12.6ポイント上がり，前年度に比べ，11.9ポイント上がった。</p> <p>●内訳は，45.0%の人が「まあまあ楽しい」，9.7%の人が「どちらともいえない」，1.1%の人が「あまり楽しくない」，0.3%の人が「全く楽しくない」と回答している。</p> <p>●H25における指標値の上昇は，実績値を把握するアンケート種別の変更に伴う有効回答者数の増加によるものと考えられる。</p> |                 |                    |              |              |      |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策⑥-1 子育てに関する情報提供や相談体制の充実

| 区分 | 事業名                               | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | <b>子育て家族の学び事業</b><br>【家庭教育学級開設事業】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者等を対象に健全で明るい家庭づくりと家庭の教育力の向上を目的に、集団で学習する家庭教育学級を開設した。</li> <li>●地域団体で9学級、幼稚園で15学級開設した。106回実施し、延べ10,576人の参加があった。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                  | 1,499       | 生涯学習課 |
|    | <b>子育て広場開設事業</b>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。</li> <li>●幼稚園等11箇所で開催。317回実施し、延べ11,345人の親子が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                  | 3,025       | 生涯学習課 |
|    | <b>子どもセンター事業</b>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●親子の体験活動機会の提供と家庭教育の支援を目的として実施した。</li> <li>●情報紙「バワフルキッズ」を年4回発行し、各種イベント情報の周知に努めるとともに、親子で楽しめるイベントを年4回実施した。1,100人を超える親子が参加し、親子のふれあいを深めることができた。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                        | 2,792       | 生涯学習課 |
|    | <b>子育て支援コーナー整備事業</b>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てをしている人の支援を目的として、平成21年度から6館(中央、水島、児島、玉島、船穂、真備図書館)全ての図書館に子育て支援コーナーを設置、資料の充実を図っている。(予算は「図書館図書購入事業」の予算に含む)</li> <li>●中央図書館で337冊受入、3,726冊を配置した。全館では840冊受入、10,337冊を配置した。子育て支援図書のリストを作成、配布し、子育て世代の利用を促進、全館で38,740冊貸出しされた。</li> <li>●子育て支援コーナーの充実を継続して実施し、関係図書を収集する。子育て支援図書のリストを更新し、配布する。</li> </ul> | -           | 中央図書館 |

## 基本施策⑥の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- 悩みや不安なく子育てを楽しむためには、親が子育てについて学べる機会を提供するとともに、同じ立場で学び合える子育ての仲間づくりのための支援を進めていく必要がある。
- 市長部局と教育委員会で似通った事業を実施しているため、参加する市民にとってわかりにくくなっている。
- 乳幼児の子育てに楽しんで協力している父親を増やしていく必要がある。
- 地域での子育て環境を整備していくためには、まだまだ多くのボランティアの協力が必要である。

### 今後の取組み方針

- 子育てや家庭教育に関する情報をまとめた冊子やチラシを配布するなど、子育てに関する情報提供を行う。
- 教育委員会が実施している子育て支援施策(子育て広場開設事業)を市長部局に事務移管する。
- 父親が楽しみながら子育てできるよう家庭教育学級を通じて啓発していく。
- 様々な媒体を活用してボランティア募集に努めるとともに、気軽にボランティアに参加できる仕組みを検討する。

### 学識経験者の意見

- 子育て家庭に対する子育て支援は、教育委員会以外もさまざまな取り組みが実施されているが、子育て家族の学び事業(家庭教育学級開設事業)や子育て広場開設事業は保護者の周知度も高く、多くの保護者が参加している。今後とも、活動内容の充実を図り、継続的に実施することを期待する。また、子育て支援者の育成のための研修会や子育て支援プログラムの開発や活用なども行ってほしい。
- 子育て支援に関する活動は実施主体により特徴があるので、それぞれの活動内容の特徴がわかるように、子育て支援を利用したい子育て家庭が活用しやすいパンフレットやホームページなどを作成し、情報提供を行ってほしい。また、子育て支援を実施している関係機関・団体のネットワークを組織化し、連携を深めることも重要である。
- 子どもセンター事業や子育て広場は多くのボランティアによって実施されている。他機関とも連携しながら、ボランティア養成講座などを実施し、ボランティアを育成し、ボランティア活動の充実を図ってほしい。

## 基本施策⑦

### 地域社会全体で子どもを守り育てる

#### 担当部署

生涯学習課，市民学習センター

#### 施策に対する考え方

「倉敷市子ども条例」の理念を尊重し，学校，家庭，地域の連携を図り，地域社会全体で子どもを守り育てるため，子ども会，PTA，青少年を育てる会などの社会教育関係団体の活性化を推進します。  
あいさつ運動や地域での声かけを推進し，地域社会全体で子どもを守り育てる意識の高揚を図ります。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                              | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値                                                                                                                                                                                   | 実績値   | 実績値   | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値   |       |
|------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
|                              |                                              |                                                                                   | H21                                                                                                                                                                                   | H24   | H25   |                                                                                     |                                                                                     | H27   | H32   |
| 子育て支援ボランティア数                 |                                              |  | 383 人                                                                                                                                                                                 | 418 人 | 347 人 |  |  | 450 人 | 550 人 |
| 算出<br>方法                     | ボランティアセンター登録の託児ボランティア<br>の数＋子育て広場のネットワークャーの数 | 分析                                                                                | <p>●実績値は，基準年に比べ，36人減り，前年度に比べ，71人減った。</p> <p>●H25の347人の内訳は，ボランティアセンター登録の託児ボランティアの数168人，子育て広場ネットワークャー179人。</p> <p>●ボランティアセンター登録の託児ボランティアについて，活動実態を調査のうえ，登録名簿の整理を行ったことにより，人数が減少している。</p> |       |       |                                                                                     |                                                                                     |       |       |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策⑦-1 次世代をはぐくむ地域の教育力の向上

| 区分 | 事業名                                | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                       | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | よい子いっぱい基金運営事業                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「よい子いっぱいのみち倉敷」の実現を目指して、基金を活用し、様々な青少年健全育成事業を実施した。</li> <li>●市内26の中学校と支援学校で立志式を実施した。また、善行のあった児童生徒や優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する「よい子強い子表彰」では、個人55人、団体26団体を表彰した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                    | 4,345       | 生涯学習課 |
|    | 成人式記念事業                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●新成人の門出を祝福し、市民意識の高揚や社会人としての自覚を促すことを目的に実施した。</li> <li>●平成26年1月12日に倉敷スポーツ公園マスカットスタジアムで実施した。新成人代表43人で構成する成人式実行委員会が企画運営に携わり、参加対象者4,548人のうち2,815人が来場し、盛況のうちに式典を終えることができた。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>  | 3,647       | 生涯学習課 |
|    | こどもまつり実施事業                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●健全な遊びや体験活動を通して交流を深めるとともに、団体の活動をPRするなど、青少年団体の活性化を図ることを目的に実施した。</li> <li>●ライフパーク倉敷で35回目の「こどもまつり」を実施した。子ども会やボーイスカウトなど各団体が様々なイベントを実施し、2,087人の子どもが参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                   | 1,581       | 生涯学習課 |
|    | 青少年健全育成団体支援事業                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で青少年健全育成活動を行っている「青少年を育てる会」の活動を支援することを目的に実施した。</li> <li>●「青少年を育てる会」が実施する青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対して補助金を交付した。また、青少年健全育成に対する市民意識の高揚を図るため「青少年健全育成推進大会」を実施し、315人が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 10,848      | 生涯学習課 |
|    | 子どもを育てる地域の学び事業<br>【家庭教育学級開設事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者等を対象に健全で明るい家庭づくりと家庭の教育力の向上を目的に、集団で学習する家庭教育学級を開設した。</li> <li>●地域団体で9学級、幼稚園で15学級開設した。106回実施し、延べ10,576人の参加があった。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                      | 1,499       | 生涯学習課 |
|    | 子ども会支援事業                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代を担う子どもたちを心豊かにたくましく成長させるために活動している「倉敷市子ども会連合会」を積極的に支援することを目的として実施した。</li> <li>●健全な子どもの育成を目的とした子ども会運営のため、補助金の支給などを行うことにより、集団指導者養成講習会や球技大会などの倉敷市子ども会連合会の活動を支援した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>      | 2,411       | 市民学習⑤ |

※所属欄の⑤は「センター」の略

## 基本施策⑦の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- 「地域の子どもは、地域で守り育てる。」という意識の高揚を図っていく必要がある。
- 地域で子どもたちの健全育成に取り組む社会教育団体への参加者が十分ではない。
- 青少年の健全育成に取り組む団体の連携を更に深めていく必要がある。

### 今後の取組み方針

- 青少年健全育成推進大会等を通じて、地域での子育ての大切さを啓発していく。
- 地域の教育を支えてきた子ども会、PTA、青少年を育てる会などの社会教育団体の活動状況を積極的にPRしていく。
- 合同での研修会を開くなど、青少年の健全育成に携わる団体同士の連携が深まる取り組みの充実に努める。

### 学識経験者の意見

- 小学校区、中学校区ごとに子ども会、PTA、青少年を育てる会などが組織され、さまざまな活動が実施されてきた。地域の繋がりが希薄になりがちな今日、その役割はますます重要になってきている。就学前の子育て支援の取組は活発に展開されているが、小学生や中学生を対象にした子育て支援についても、さらに充実を図り、活性化していくことが重要である。
- 子育て支援ボランティア数が昨年に比べ減少しているので、地域社会全体で子どもを守り育てるという意識をさらに高めていくためにも、子育て支援ボランティアの育成や連携を図ることが重要である。また、「こどもまつり実施事業」などのイベントや講演会などを通じた啓発活動をさらに拡大し、充実していくことを期待する。
- 小学生や中学生の放課後の居場所づくりが重要な課題となってきたので、「よい子いっぱい基金運営事業」、「青少健全育成団体支援事業」、「子ども会育成事業」のさらなる充実を図るとともに、青少年健全育成に関する団体が情報交換をし、連携して活動できるようなネットワークを組織化し、活動を展開して欲しい。

## 基本施策⑧

### 学校、コミュニティ、家庭が連携し、子どもの健全育成を推進する

#### 担当部署

生涯学習課，青少年育成センター，市民学習センター

#### 施策に対する考え方

子どもの学びや成長をはぐくむ場は、学校、家庭、地域の中にあります。学校、家庭、地域が連携・協力して、地域の中で子どもたちが安心して、様々な体験・交流活動などを行う場づくりを設けるなど地域ぐるみで子育てを支援するとともに、学校教育を支援する仕組みづくりを進めます。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)            |                                                                                               | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                           | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25      | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------|--------------|--------------|------|------|
|                                         |                                                                                               |            |                                                                                                                                                                                                      |                     |                 |              |              | H27  | H32  |
| 子どもの学校での教育について、学校、家庭、地域の連携ができていると思う人の割合 |                                                                                               |            | 30.8 %<br>(n=1,653)                                                                                                                                                                                  | 32.7 %<br>(n=1,024) | 38 %<br>(n=824) |              |              | 43 % | 57 % |
| 算出<br>方法                                | 市民アンケート調査で「子どもの学校での教育について、学校、家庭、地域の連携ができていると思いますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというときていいる』と回答した人の割合。 | 分析         | <p>●実績値は、基準年に比べ、7.2ポイント上がり、前年度に比べ、5.3ポイント上がった。</p> <p>●「できている」「どちらかというときていいる」と回答した人の割合が38.0%に上昇したものの、「わからない」と回答した人の割合が34.1%にのぼっている。</p> <p>●「わからない」と回答した人の割合は、昨年度の39.4%から5.3ポイントさがって34.1%となっている。</p> |                     |                 |              |              |      |      |

| 評価指標(総合計画 指標)        |                      | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H23                                                                                                | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値     |         |
|----------------------|----------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|---------|---------|
|                      |                      |            |                                                                                                           |            |            |              |              | H27     | H32     |
| 学校で活動している地域のボランティアの数 |                      |            | 6,184 人                                                                                                   | 10,512人    | 31,855人    |              |              | 6,500 人 | 7,000 人 |
| 算出<br>方法             | 学校で活動している地域のボランティアの数 | 分析         | <p>●実績値は、基準年に比べ、25,671人増え、前年度に比べ、21343人増えた。</p> <p>●地域のボランティアを活用して実施する事業の実施校が増えたことが大きな要因となっていると考えられる。</p> |            |            |              |              |         |         |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)    |                                                                                                         | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                   | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値      |          |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
|                                 |                                                                                                         |                                                                                   |                                                                                              |            |            |                                                                                     |                                                                                     | H27      | H32      |
| 学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの数(人/年度) |                                                                                                         |  | 121,862人                                                                                     | 154,136人   | 179,109人   |  |  | 129,000人 | 142,000人 |
| 算出<br>方法                        | 放課後子ども教室へ参加した子どもの数<br>※H24までは、「いきいき子ども支援の会主催事業、放課後子ども教室へ参加した子どもの数」。H25より、いきいき子ども支援推進事業を放課後子ども教室事業に統合した。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、57,247人増え、前年度に比べ、24,973人増えた。</p> <p>●実施回数が増え、より多くの活動機会を提供できたため、参加人数が増えた。</p> |            |            |                                                                                     |                                                                                     |          |          |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)              |                                                                                                                                                               | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                    | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値  |      |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
|                                           |                                                                                                                                                               |                                                                                   |                                                                                                                               |                     |                   |                                                                                     |                                                                                     | H27  | H32  |
| いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていると感じている人の割合 |                                                                                                                                                               |  | 28.5 %<br>(n=1,653)                                                                                                           | 23.9 %<br>(n=1,024) | 25.4 %<br>(n=824) |  |  | 42 % | 53 % |
| 算出<br>方法                                  | 市民アンケート調査で「いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動をおこなっていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。<br>※H21(基準値)は「いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていますか。」という設問に対して、『行っている』と答えた人の割合。 | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、3.1ポイント下がり、前年度に比べ、1.5ポイント上がった。</p> <p>●年代別では、70歳以上が30.3%、50歳代が27.6%が高い。16～19歳、20歳代で「感じていない」が約40%と高くなっている。</p> |                     |                   |                                                                                     |                                                                                     |      |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策⑧ー1 効果的な学校支援活動と地域と学校の一体感の醸成(重点)

| 区分 | 事業名               | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 重  | 地域連携による学校支援事業(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。</li> <li>●小学校区13か所、中学校区8か所で事業を実施した。ボランティア登録総人数は1,292人、延べ31,733人のボランティアが学習支援や環境整備などの学校支援活動に参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 10,305      | 生涯学習課 |

### 施策⑧ー2 青少年の健全育成施策の推進

| 区分 | 事業名               | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額<br>(千円) | 所属     |
|----|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
|    | 「生きる力」支援事業        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校及びその傾向にある子どもたちの「生きる力」の育成に努め、自立を支援するとともに、保護者の心理的負担の軽減することを目的に実施した。</li> <li>●自宅に引きこもることなく、地域社会との接点として開設した「居場所(※)」には延べ486人が参加した。また、保護者の心理的負担を軽減するため「保護者の集い」を年8回開催し、延べ65人の参加があった。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> <p>※居場所：公民館や児童館の一角を利用して用意した不登校の児童・生徒が集えるフリースペース</p>               | 1,251       | 生涯学習課  |
|    | 青少年健全育成団体支援事業(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で青少年健全育成活動を行っている「青少年を育てる会」の活動を支援することを目的に実施した。</li> <li>●「青少年を育てる会」が実施する青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対して補助金を交付した。また、青少年健全育成に対する市民意識の高揚を図るため「青少年健全育成推進大会」を実施し、315人が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                | 10,848      | 生涯学習課  |
|    | 青少年育成センター非行防止活動事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年の健全な育成保護のために、関係機関および団体等と連絡調整を図り、青少年の非行を防止するとともに、非行青少年の補導に努めることを目的に実施した。</li> <li>●補導員による街頭補導を年間254日実施し、1,039人の補導をした。相談は、電話・メール・来所相談を実施し、相談件数は、687件であった。広域列車補導や学校警察連絡協議会等の青少年健全育成活動を行うとともに、関係機関との連携を深めた。</li> <li>●非行防止、不審者対策、環境浄化活動、相談等、地域と協力しながら青少年健全育成活動を継続して実施する。</li> </ul> | 47,295      | 青少年育成⑤ |
|    | 子ども会支援事業(再掲)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代を担う子どもたちを心豊かにたくましく成長させるために活動している「倉敷市子ども会連合会」を積極的に支援することを目的として実施した。</li> <li>●健全な子どもの育成を目的とした子ども会運営のため、補助金の支給などを行うことにより、集団指導者養成講習会や球技大会などの倉敷市子ども会連合会の活動を支援した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                     | 2,411       | 市民学習⑤  |

※所属欄の⑤は「センター」の略

## 基本施策⑧の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- 青少年の健全育成を推進するためには、学校だけでなく家庭や地域全体で取り組んでいく必要がある。
- 地域ボランティアによる青少年健全育成事業は多岐にわたって実施されているが、携わるボランティアはまだ不足している。
- 学校になじめず、不登校傾向にある子どもたちへの地域の支援は十分とは言えない現状がある。
- 不登校児童・生徒をもつ保護者の負担軽減を図っていく必要がある。

### 今後の取組み方針

- 地域のボランティア同士が学校を中心につながりを深められるよう支援する。
- 地域で青少年の健全育成に携わるボランティアの資質と意識の向上を図るための啓発に努めるとともにボランティア募集に関するPR活動の活発化を図っていく。
- 不登校傾向にある児童・生徒の支援について地域と連携しながら居場所事業や自然体験活動などを実施し、子どもたちの自立支援に努める。
- 不登校の子どもたちを養育する保護者の悩みや不安を相談できる体制の充実を図っていく。

### 学識経験者の意見

- 教育の3本柱である学校教育・家庭教育・地域教育のうち、時代・社会構造・生活様式等の変化の中で教育力が低下していったと言われる家庭教育と地域教育の再生を担う当施策の役割は大きいと考える。一見、変わり映えのしない施策が並ぶ印象があるが、長期的施策として変わることなく取り組まなければならない分野であり、その継続的努力を評価できる。
- 各事業の対象を見ても一般青少年や子どもから不登校者や非行青少年まで実に幅広く、施策の展開が多次元的となっており、ボランティアの活動時間も早朝から夜に及ぶ。関係各位の献身的な奉仕に対しては頭が下がる思いである。
- 「居場所」事業は不登校者を対象としているが、「学校への帰還を促す」でなく、「人間が有する“生きる力”に働きかけ、人生を放棄させない」という社会教育独自の視点からの取り組みである。今後は不登校化する・しないにかかわらず、“学校になじめない一定の子ども達が存在しつづける”という事実を直視し、深い人間理解から対策に取り組むことが必要である。

## 基本施策⑨

### 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する

#### 担当部署

自然史博物館，少年自然の家，生涯学習課

#### 施策に対する考え方

子どもたちが成長する中で，豊かな自然とふれあう自然体験活動を経験することは，豊かな心を醸成していく上で重要なことです。

自然体験活動の機会を充実するとともに，自然とふれあうことのできる施設の整備を行います。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画)  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21    | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値          |              |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------|------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |            |               |            |            |              |              | H27          | H32          |
| 自然にふれる活動に参加している子どもの数(人／年度) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |            | 14,537 人<br>※ | 15,136 人   | 14,893人    |              |              | 17,500人<br>※ | 19,700人<br>※ |
| 算出<br>方法                   | <p>少年自然の家の利用者(乳幼児＋小中学生)，自然史博物館主催の自然観察会等の屋外活動，冒険遊び場，親子水辺教室，海辺教室，自然エネルギーキャラバンへの参加児童生徒数</p> <p>※総合計画策定時，少年自然の家の利用者数について，大人(高校生以上)も含めた人数で計上していたため，H21基準値「18,130人」，H27目標値「21,800人」，H32目標値「24,600人」となっていた。</p>                                                                                                                       |            |               |            |            |              |              |              |              |
| 分析                         | <p>●実績値は，基準年に比べ，356人増え，前年度に比べ，243人減った。</p> <p>●内訳は，少年自然の家の利用者(乳幼児＋小中学生)が11,464人(H24:11,237人)，自然史博物館主催の自然観察会等の屋外活動が，1,256人(H24:1,222人)，冒険遊び場が1,485人(H24:2,195人)，親子水辺教室が24人，(H24:24人)，海辺教室が22人(H24:20人)，こどもエコライフチャレンジが469人(H24:438人)，環境学習センター主催の屋外活動が173人。</p> <p>●自然体験活動のうち，冒険遊び場は，開催予定日が雨天となり，中止になった日が多くあったため，延べ参加者数が減少した。</p> |            |               |            |            |              |              |              |              |

### 施策を推進する主な事業の評価

#### 施策⑨－1 自然体験活動の機会の充実

| 区分 | 事業名              | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額<br>(千円) | 所属     |
|----|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
|    | 自然史博物館教育普及，まつり事業 | <p>●次世代における人材育成に貢献することを主眼として，学校園等団体及び市民への学習支援を行う。また，市民協働による事業として11月3日に自然史博物館まつりを開催した。</p> <p>●平成25年度の主な実績は以下のとおり。</p> <p>1 教育普及事業・・・自然観察会参加者640人。各種講座等参加者13,269人。レファレンス件数1,104件。講師派遣(出前講座含む)36件。学校園見学ガイダンス56校園2,537人。</p> <p>2 自然史博物館まつり事業・・・参加者数:6,936人。</p> <p>●様々なニーズへの対応を図りつつ，継続実施する。</p> | 866         | 自然史博物館 |

|  |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |        |
|--|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|
|  | 少年自然の家運営事業 | <p>●自然環境の中で、子どもたちに野外活動、集団宿泊生活を体験する機会を提供し、心の豊かさを育てるとともに、自然を愛し自然に感動する人づくりを目的に実施した。</p> <p>●平成25年度の主な実績は以下のとおり。</p> <p>1 子どもの利用者数 11,464人</p> <p>・受入事業の子どもの利用者数 10,923人(乳幼児861人、小中学生10,062人)</p> <p>・主催事業の子どもの利用者数 541人(乳幼児 75人、小中学生 466人)</p> <p>2 子どもの参加できる主催事業の実施状況</p> <p>・家族向け事業 4回 ・少年向け事業 2回 ・自由参加事業 1回</p> <p>・生きる力応援プラン(さわやかデー) 2回</p> <p>●継続して実施する。</p> | 52,196 | 少年自然の家 |
|  | 冒険遊び場支援事業  | <p>●民間団体が実施している「冒険遊び場」の活動を支援することによって、自然体験活動機会の充実を図ることを目的に実施した。</p> <p>●平成25年度は、乳幼児対象のまめっこパークとあわせ、合計21日開催し、大人875人、子ども1,485人の合計2,360人が参加した。</p> <p>●今後も支援を継続するとともに、活動を広くPRしていく。</p>                                                                                                                                                                              | 287    | 生涯学習課  |

#### 施策⑨-2 自然とふれあう施設の充実

| 区分 | 事業名                          | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 決算額(千円) | 所属     |
|----|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------|
|    | 自然史博物館調査研究、標本、文献等収集、展示、特別展事業 | <p>●自然に関する資料の収集、保管、調査、研究をするとともに、その成果を展示し、市民の生涯教育の向上に寄与した。</p> <p>●平成25年度の主な実績は以下のとおり。</p> <p>1 調査研究事業・研究報告29号の発行。専門誌等への寄稿121件。</p> <p>2 標本・文献等収集保管事業・約21,732点の新たな資料の受入。脊椎動物標本の作製とボランティア養成の実施。</p> <p>3 展示事業・特別陳列、常設展示の補充などを実施。倉敷まちかど博物館事業開始。</p> <p>4 特別展事業・第22回特別展「昆虫とあそぼうよ」を開催。観覧者数18,621人。</p> <p>●様々なニーズへの対応を図りつつ、継続実施する。</p> | 7,642   | 自然史博物館 |
|    | 少年自然の家施設の管理・整備・美化事業          | <p>●施設の設備保全、利用者の安全や快適性の向上、衛生管理の改善を目的に実施した。</p> <p>●平成25年度の主な実績は以下のとおり。</p> <p>1 主な計画修繕</p> <p>・宿泊棟A・B棟屋根修繕 ・污水排水管修繕</p> <p>・玄関前スロープ修繕 ・研修棟排煙窓修繕</p> <p>2 主な計画外修繕</p> <p>・男子浴室天井修繕 ・女子浴室天井修繕 ・ボイラー室温水配管修繕</p> <p>3 主な備品の更新</p> <p>・携帯型デジタル簡易無線機 10台</p> <p>●子どもたちが安全かつ快適に利用できるよう、計画的に計画修繕を実施する。</p>                                | 15,722  | 少年自然の家 |

## 基本施策⑨の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- ボランティアが運営する冒険遊び場では、活動を支援する人材の確保が課題となっている。
- 博物館の利用については、小中学校の教科との連携を図ることが課題である。
- 博物館利用者の満足度は常に高いが、「今まで知らなかった」という声があり、施設の機能やイベントの効率的な周知が望まれる。
- 博物館に貴重な収蔵標本が充実していることは喜ばしいが、収蔵スペースの確保が必要である。

### 今後の取組み方針

- 参加者の保護者が、ボランティアとして活動を支援する側になる場合もあるため、引き続き活動周知のためのPR活動に努めていく。
- 市内外の学校へ博物館の利用案内をする一方、ボランティア活動の内容の多様化を進めるなどして、見学時のガイダンス等を充実させ、学校園との連携を深める。
- 機会あるごとに博物館の積極的な広報活動をする。25年度の助成事業「倉敷まちかど博物館」(出前展示)の運用継続により、他施設を訪れる市民・観光客へ博物館の魅力を直接的に伝える。
- 26年度から「お宝探検ツアー」を実施し、博物館の収蔵標本の重要性を市民に直接感じていただく機会を提供する。

### 学識経験者の意見

- 子どもたちが豊かな自然と関わりながら学びを深めていくことは、自然を愛し自然とともに生きていくことが求められる次代を担う人材育成の上からも、たいへん重要なことである。
- そのための中核的な施設として、自然史博物館や少年自然の家があるが、それらの限られた施設だけでは、予算や活動の制限等もあり評価目標を大きく上回っていくことは厳しいと思う。
- 両施設の活動や利用者増に向けてのさらなる工夫改善に努めるとともに、冒険遊び場支援事業を拡大したり、生涯学習施設の公民館の活用も考えられる。公民館活動として、地域の大人や子どもたちを対象にした自然とふれあう活動を計画し、指導者を地域の方にボランティアとしてお願いすれば、あまり経費をかけなくても多くの人々が自然にふれあう活動に取り組めると考える。また、市長部局の施設等(美しい森など)との連携も考えられるのではないだろうか。

## 基本施策⑩

一人一人が生涯を通して行う学習を支援するとともに、  
生涯学習による地域の活性化を推進する

### 担当部署

生涯学習課，市民学習センター，中央図書館，科学センター，情報学習センター

### 施策に対する考え方

子どもから高齢者まで誰もが楽しみ生きがいをもって暮らすことができるよう、いつでもどこでも学ぶ環境づくりを進めるとともに、その成果を活かすことができる生涯学習社会の実現に向けた取組を行います。  
また、地域住民にとって身近な学習拠点である公民館、図書館などの生涯学習施設の充実と利便性の向上を図ります。

### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H22        | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H26        | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|------|------|
|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            |                   |                   |                   |              |              | H27  | H32  |
| 生涯学習活動に対して関心がある人の割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            | 71.1 %<br>(n=308) | 92.9 %<br>(n=406) | 71.9 %<br>(n=352) |              |              | 80 % | 90 % |
| 算出<br>方法            | <p>※アンケート調査を隔年で実施している。<br/>・平成22年度の基準値は、18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施したアンケート結果(回答率30.8%)で「たいへん関心がある」「少し関心がある」と答えた人の割合<br/>・平成24年度の実績値は、市民モニター制度を活用して実施したアンケート結果(モニター数1,116人 回答率36.4%)で「たいへん関心がある」「少し関心がある」と答えた人の割合</p> <p>分析</p> <p>●平成26年度の実績値は、18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施したアンケート結果(回答率35.2%)で「たいへん関心がある」「少し関心がある」と答えた人の割合。実績値は、基準年に比べ0.8ポイント上がった。<br/>●内訳は、「たいへん関心がある」「少し関心がある」が71.9%、「どちらでもない」が8.5%だった。<br/>●平成24年度の実績値は、市政への関心が高い市民モニターの調査だった為、数値が高かったのではないかと考える。</p> |            |                   |                   |                   |              |              |      |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21          | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|---------------------|-------------------|--------------|--------------|------|------|
|                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |            |                     |                     |                   |              |              | H27  | H32  |
| 自分が参加したいと思う講座や活動があると思う人の割合   |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |            | 35.4 %<br>(n=1,653) | 30.4 %<br>(n=1,024) | 32.2 %<br>(n=824) |              |              | 46 % | 57 % |
| 算出<br>方法                     | <p>市民アンケート調査で「公民館やライフパーク倉敷などに自分が参加したいと思う講座や活動がありますか。」という設問に対して、『十分ある』『まあまあある』と回答した人の割合。</p> <p>分析</p> <p>●実績値は、基準年に比べ、3.2ポイント下がり、前年度に比べ、1.8ポイント上がった。<br/>●内訳は、「あまりない」「まったくない」が合計で40.6%、「わからない」が25.2%であった。なお16～19歳代では、5割を超える人が「わからない」と回答、20歳代・30歳代では、3割を超える人が「わからない」と回答している。</p> |            |                     |                     |                   |              |              |      |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)     |                                                | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                               | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値<br>H27 H32 |         |
|----------------------------------|------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------------|---------|
| 公民館、図書館等で開催される生涯学習講座への参加者数(人/年度) |                                                |            | 36,099 人                                                                                                                                 | 36,742 人   | 36,889人    |              |              | 43,800人        | 54,200人 |
| 算出<br>方法                         | 市民学習センター(視聴覚業務含む)、基幹・地区公民館、図書館で開催される生涯学習講座受講者数 | 分析         | <p>●実績値は、基準年に比べ、790人増え、前年度に比べ、147人増えた。</p> <p>●内訳は、市民学習センター・公民館での講座が20,765人、図書館での講座が16,124人であった。</p> <p>●図書館での講座は前年度に比べ1,371人減少している。</p> |            |            |              |              |                |         |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標)                |                                                                                            | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                        | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値<br>H27 H32 |      |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------------|--------------|--------------|----------------|------|
| 生涯学習講座の情報を知りたいときに、簡単に入手することができていると思っている人の割合 |                                                                                            |            | 35.6 %<br>(n=1,653)                                                                                                               | 31.3 %<br>(n=1,024) | 35.9 %<br>(n=824) |              |              | 49 %           | 61 % |
| 算出<br>方法                                    | 市民アンケート調査で「生涯学習講座の情報を知りたいときに、簡単に入手することができますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというときでできている』と回答した人の割合。 | 分析         | <p>●実績値は、基準年に比べ、0.3ポイント上がり、前年度に比べ、4.6ポイント上がった。</p> <p>●「できている」と答えた人の割合を年齢別でみると、40歳代以上の世代では昨年よりも増加しているが、30歳代以下の世代は昨年よりも減少している。</p> |                     |                   |              |              |                |      |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                                                   | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                      | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値<br>H27 H32 |       |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------------|-------|
| 市民一人当たりの市立図書館の貸出数(点/年度)      |                                                                                                   |            | 6.1 点                                                                                                           | 6.2 点      | 6.1 点      |              |              | 6.5 点          | 6.9 点 |
| 算出<br>方法                     | 図書の年間貸出点数/市の人口 ※図書(視聴覚・雑誌を含む)の年間貸出点数(団体を含む)とは、中央・水島・児島・玉島・船穂・真備の図書館(ライフパークを除く)、移動図書館、公民館図書室の総貸出点数 | 分析         | <p>●実績値は、基準年に比べ、変わっておらず、前年度に比べ、0.1点下がった。</p> <p>●全館の平成24年度の貸出数は2,985,910点、平成25年度は2,943,754点と、42,156点減少している。</p> |            |            |              |              |                |       |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標 |                                                                                                                                                                                      | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H23                                                                                        | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値<br>H27 H32 |              |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
| 市立図書館レファレンスサービス件数   |                                                                                                                                                                                      |            | 4,260 件<br>※                                                                                      | 4,365 件    | 5,229 件    |              |              | 4,500 件<br>※   | 4,700 件<br>※ |
| 算出<br>方法            | 市立図書館(ライフパーク倉敷図書室を除く)レファレンスサービス件数<br>※レファレンスサービス:図書館利用者が求める資料や情報などを効率よく入手できるように、図書館職員が援助するサービス。<br>※振興計画策定時、カウント方法がH23以降と違っていたため、H21基準値「6,102件」、H27目標値「6,300件」、H32目標値「6,500件」となっていた。 | 分析         | <p>●実績値は基準年に比べ、969件増え、前年度に比べ、864件増えた。</p> <p>●職員間でレファレンス件数のカウント方法を再確認、意識して件数を記録した結果の増加と考えられる。</p> |            |            |              |              |                |              |

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標           |                                               | 目指す<br>方向性                                                                        | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                                                                                       | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向                                                                        | H24<br>からの傾向                                                                        | 目標値   |       |
|-------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
|                               |                                               |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |            |                                                                                     |                                                                                     | H27   | H32   |
| 子ども読書活動推進ボランティア数(市立図書館での登録者数) |                                               |  | 164 人                                                                                                                                                                                                                                                                            | 139 人      | 142 人      |  |  | 190 人 | 210 人 |
| 算出<br>方法                      | 子ども読書活動推進ボランティア数(市立図書館での登録者数(ライフパーク倉敷図書室を除く)) | 分析                                                                                | <p>●実績値は、基準年に比べ、22人減り、前年度に比べ、3人増えた。</p> <p>●読み聞かせボランティアの育成のために各図書館で初級・中級講座を9回実施、延べ96人の参加があった。その参加者は学校等でボランティア活動をしている人が多いが、図書館でボランティアをするようになった人も4人いる。H25は図書館のホームページ等で図書館ボランティアも募集し、おはなしボランティアも3人応募があった。</p> <p>●長年ボランティアをされている方が高齢でボランティアをやめられるというケースもあるため、全体に減少の傾向があると推測される。</p> |            |            |                                                                                     |                                                                                     |       |       |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策⑩ー1 学習意欲向上に向けての意識啓発と情報提供

| 区分 | 事業名           | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                            | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 子どもセンター事業(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●親子の体験活動機会の提供と家庭教育の支援を目的として実施した。</li> <li>●情報紙「パワフルキッズ」を年4回発行し、各種イベント情報の周知に努めるとともに、親子で楽しめるイベントを年4回実施した。1,100人を超える親子が参加し、親子のふれあいを深めることができた。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 2,792       | 生涯学習課 |
|    | 生涯学習推進事業      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習活動に対する理解と意識啓発を図ることを目的に実施した。</li> <li>●市の行政活動をわかりやすく伝えるため、出前講座パンフレットを作成し、全戸配布した。延べ1,444講座を開講し、延べ62,030人の参加があった。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                        | 603         | 生涯学習課 |

### 施策⑩ー2 それぞれの学習意欲に対応できる多様な学習機会の提供

| 区分 | 事業名        | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 生涯学習活動推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の生涯学習の拠点施設として、市民の多様な学習ニーズに対応した講座の開催や地域・社会が抱えるさまざまな課題の解決へのきっかけとなるような学習機会の提供を目的として実施した。</li> <li>●市民学習センター及び公民館で、生涯学習講座を848講座実施し、受講者数は20,765人であった。市民学習センターでは、くらしき市民講座の充実を図り、公民館では地域ごとの課題解決の講座を企画するなど、昨年度から引き続いて、趣味的要素の濃い内容の講座から地域課題の理解や解決につながるような内容の講座への移行を行っている。</li> <li>●今まで以上に、地域が抱えている課題を解決できるように講座内容のさらなる充実を図りながら、講座等で学んだ知識を地域へ還元できるしくみ作りを考えながら、継続して実施する。</li> </ul> | 603,207     | 市民学習⑤ |

※所属欄の⑤は「センター」の略 以下同じ

|  |             |                                                                                                                                                                                                                                          |     |       |
|--|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
|  | 子ども読書活動推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第2次倉敷市子ども読書活動推進計画の推進を目的として実施した。</li> <li>●各図書館で倉敷市子ども読書活動推進講座を23講座実施、参加者581人。読み聞かせボランティアの育成のために各図書館で初級・中級講座を9回実施、参加者96人。</li> <li>●家庭での読書を習慣づけるための講座や親子での読書を推奨する場をつくることも考えて、継続して実施する。</li> </ul> | 115 | 中央図書館 |
|--|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|

### 施策⑩-3 それぞれの学習の拠点となる生涯学習施設の機能充実

| 区分 | 事業名                 | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 図書館図書購入事業           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習拠点として市民の多角的な学習への支援や課題解決を図るため、また、誰もが読書活動を楽しむため、組織的に資料を収集することを目的として実施した。</li> <li>●収集基本方針に基づき、図書館全体で一般書35,946冊、児童書12,256冊を購入した。なお、子育て支援、農業・ビジネス支援のほか闘病記コーナーや高齢者のための資料の充実に努めた。</li> <li>●平成26年度も継続してビジネス支援、子育て支援コーナー等の資料充実に努める。また社会情勢や市民ニーズに合った図書を購入する。</li> </ul>                                                                                         | 87,123      | 中央図書館 |
|    | 生涯学習環境整備事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ライフパーク倉敷及び各公民館で必要となる設備の整備改修を目的として実施した。</li> <li>●福田公民館排水設備修繕、玉島西公民館排水設備修繕、庄公民館高圧引込ケーブル取替修繕などを実施した。</li> <li>●経年劣化により施設の老朽化が今後も進むと考えられるが、緊急性・重要性などを考慮しながら、継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                               | 36,740      | 市民学習④ |
|    | 宇宙劇場運営事業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●科学及び科学技術の知識の普及・啓発を図ることを目的に実施した。</li> <li>●プラネタリウム、全天周映画の一般投映、学習投映(主に学校団体)を行った。53,012人が宇宙劇場に入場した。また科学センター全体の年間利用者数は、過去20年間の平均よりやや多い155,561人であった。</li> <li>●時流の科学や天文の話題をうまくとらえた番組作りを行い、継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                   | 37,915      | 科学④   |
|    | ネットワーク・システム整備事業(再掲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習施設での学習の拠点として、情報通信技術の高度化に対応した学習環境の整備を促進することと、設置している情報機器が安定稼動することを目的に、事業を実施した。</li> <li>●各施設で使用している各システムの運用支援、基幹サーバやネットワーク機器の保守委託等を実施した。生涯学習施設にあるIT講座用コンピュータ利用環境の維持や、市民利用コンピュータのインターネット環境の維持に努めた。</li> <li>●ネットワークセンターとして、各施設での情報機器を利用して行う業務やサービスが安定した運用を行えるよう、使用期限を迎える機器(コンピュータやサーバ等)やシステムの更新を行ったり、ウィルス対策をはじめセキュリティ強化を行ったりするために、本事業を継続して実施する。</li> </ul> | 153,207     | 情報学習④ |

### 施策⑩-4 喜びや充実感を感じる生涯学習の仕組みの構築

| 区分 | 事業名                         | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 地域還元型講座実施事業【生涯学習活動推進事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域課題・ニーズの把握を行い、学んだ成果を地域へ還元できることを目的とした講座を実施した。(予算・決算は「生涯学習活動推進事業」の予算・決算額に含む)</li> <li>●「小学生高学年のための認知症サポーターキッズ教室」や「AED(自動体外式除細動器)の使い方と心肺蘇生法講座」など、学んだ成果を地域へ還元できるような講座を実施した。</li> <li>●内容を検討しながら、学んだ成果を地域へ還元できるような講座を継続して実施する。</li> </ul> | -           | 市民学習④ |

### 施策⑩-5 それぞれの学習成果を地域で活かせる環境の整備

| 区分 | 事業名                          | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 地域情報発信事業<br>【生涯学習活動推進事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域ごとの特性を考慮した情報発信を行うことを目的として実施した。(予算・決算は「生涯学習活動推進事業」の予算・決算額に含む)</li> <li>●地域の情報を各公民館に掲示するなどして、情報発信を行ったほか、自分たちの住む地域について学ぶために、「歴史資料講座」シリーズ、「歴史を巡る～水島合戦記念碑と玉島町並み散策～」等の講座を行った。また、地域の特産品を知る「旬の食材をおいしく」等の講座を行い、日常生活に生かすことのできる内容のものを実施した。</li> <li>●内容を検討しながら、継続して実施する。</li> </ul> | -           | 市民学習⑦ |

### 施策⑩-6 地域でともに生きるための学習の推進

| 区分 | 事業名                                 | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                               | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 地域力向上講座<br>実施事業<br>【生涯学習活動推進事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の実情や課題の把握に努め、地域力の向上につながることを目的として実施した。(予算・決算は「生涯学習活動推進事業」の予算・決算額に含む)</li> <li>●「体験ツアー型 およびの放課後クラブ」「知って備える気象災害～台風・大雨災害について～」「輝くシルバーライフのために～交通ルールとマナー～」など、地域力の向上につながる講座を実施した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | -           | 市民学習⑦ |

### 施策⑩-7 次世代をはぐくむ地域の教育力の向上(再掲)

| 区分 | 事業名                                 | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | 地域連携による学校支援事業(再掲)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。</li> <li>●小学校区13か所、中学校区8か所で事業を実施した。ボランティア登録総人数は1,292人、延べ31,733人のボランティアが学習支援や環境整備などの学校支援活動に参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 10,305      | 生涯学習課 |
|    | 子育て広場開設事業(再掲)                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。</li> <li>●幼稚園等11箇所で開催。317回実施し、延べ11,345人の親子が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                                                        | 3,025       | 生涯学習課 |
|    | 青少年健全育成団体支援事業(再掲)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で青少年健全育成活動を行っている「青少年を育てる会」の活動を支援することを目的に実施した。</li> <li>●「青少年を育てる会」が実施する青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対して補助金を交付した。また、青少年健全育成に対する市民意識の高揚を図るため「青少年健全育成推進大会」を実施し、315人が参加した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                   | 10,848      | 生涯学習課 |
|    | 親育ち支援講座<br>実施事業<br>【生涯学習活動推進事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭教育の大切さや家庭として果たすべき役割などを学ぶ親育ちを支援することを目的として実施した。(予算・決算は「生涯学習活動推進事業」の予算・決算額に含む)</li> <li>●「保護者支援～親の育ちについて考える～」や「一緒に成長しよう！～親育ちサポート～」と題した講演会や講座を開催し、該当世代の親育ち支援を行った。</li> <li>●講演会・講座の内容を検討しながら継続して実施する。</li> </ul>                        | -           | 市民学習⑦ |

## 施策⑩ー8 多様な主体と連携した生涯学習の推進

| 区分 | 事業名                                      | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額<br>(千円) | 所属    |
|----|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
|    | くらしき市民講座<br>実施事業<br>【生涯学習活動推進<br>事業(再掲)】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市の他部局や大学、社会教育関係団体など多様な主体と連携し、子育てや環境問題など、地域や社会の様々な課題解決や地域づくりにつながる講座を実施した。(予算・決算は「生涯学習活動推進事業」の予算・決算額に含む)</li> <li>●「子育て応援シリーズ 子どもの発達への理解」や「海辺教室」・「水辺教室」など、市の他部局や行政と連携し、くらしき市民講座として企画・実施した。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | -           | 市民学習⑤ |

## 基本施策⑩の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- 生涯学習活動で得た知識や技術を活用する機会の充実を図る必要がある。
- 目覚ましい情報社会の進展の中では、生涯学習施設において、学習効果を高めたり、業務の効率化によるサービスの向上を図ったりできるように、情報通信ネットワーク及びそれを利用したシステムについて、利便性とセキュリティの両面を精査した整備を検討する必要がある。
- プラネタリウム投映機器老朽化のため、投映機器のデジタル化更新が早急に必要である。
- 子どもが本に出会うための機会の拡大と、子どもが読書への興味や関心を持つように、より一層の啓発が必要である。
- 子どもの読書活動に取り組むボランティアの拡大や人材育成が必要である。

### 今後の取組み方針

- 地域や学校等で、生涯学習の成果を発揮できる機会の充実に努める。
- 情報通信ネットワーク及びそれを利用したシステムについて、安定稼動を維持するために障害対応などの保守管理を行うとともに、タブレット端末等への対応や公共WiFiのあり方の調査研究に取り組む。
- 科学及び科学技術の知識の普及・啓発を図り、宇宙や天文への関心をより一層高めるため、プラネタリウム投映機器の更新を検討する。
- 平成25年度末に策定した「第3次倉敷市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館と、公民館・学校・家庭等と連携し、子どもが本を楽しみ、自主的に読書を行える環境をさらに整備することをめざす。
- 子どもの読書活動に取り組むボランティアの養成講座やボランティア同士の結びつきのための支援を行っていく。

●市民アンケートによれば、市民の生涯学習活動に対する関心は非常に高いが、市民が参加したいと思う講座や活動はまだまだ足りないようである。趣味的講座から地域理解の講座への移行を進めていることは評価できるが、さらに市民の学習ニーズの把握を進めるとともに、講師の開拓が課題となる。すなわち現役の教員や市役所職員による講座では自ずと限界があり、今後は在野の研究者や市民企画による講座などをさらに進めることが必要となる。

●倉敷科学センターはハード、ソフトの両面で優れた社会教育施設である。すなわち倉敷のみならず県内外からもバスで乗り付けることのできる立地、多数の見学者を受け入れることのできる規模、児童など集団を対象としたプレゼンテーション技法などソフト面で洗練されたノウハウを有するなど中四国に誇ることのできる施設である。プラネタリウムが老朽化しているのであれば、是非、機材・施設のデジタル化更新を実現すべきである。

●倉敷市の子ども読書活動推進事業は幼児対象の絵本読み聞かせにおいては伝統があり、ボランティア活動も盛んで高く評価できる。一方、精神的成熟や将来の生き方にまで影響を与える小学校高学年以降の読書体験は学校での取り組みに加えて図書館や自宅での自主的読書によるところが大きい。小学生がスマートフォンを所有し、携帯ゲームやSNSに時間を費やすようになると読書の時間はいよいよ無くなると思われる。余暇に読書にいそしむ生活の魅力を伝えるなど、生活時間論・余暇論のレベルからの根本的な対策が必要と考える。

## 基本施策⑪

### くらしき文化、芸術活動を振興する

#### 担当部署

美術館

#### 施策に対する考え方

芸術文化は、心豊かな活力ある社会の形成にとって極めて重要な意義をもつものです。  
近隣の文化施設と連携し、市民が生涯を通じて気軽に芸術文化に接し、自主的な芸術活動を活発に行うことのできる環境を整備します。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                 | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                       | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値      |          |
|------------------------------|-------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------|----------|
|                              |                                                 |            |                                                                                                                                                                                                                  |            |            |              |              | H27      | H32      |
| 文化施設の利用者数(人/年度)              |                                                 |            | 524,311人                                                                                                                                                                                                         | 605,085人   | 612,538人   |              |              | 675,000人 | 690,000人 |
| 算出<br>方法                     | 倉敷市民会館、芸文館、児島文化センター、玉島文化センター、マービーふれあいセンターの利用者総数 | 分析         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値は、基準年に比べ、88,227人増え、前年度に比べ、7,453人増えた。</li> <li>●全体としては前年度の101.2%と微増である。</li> <li>●H25における指標値の改善は、主に市民会館の利用者の増加(24年度278,878人⇒25年度313,397人、112.4%)によるものと思われる。</li> </ul> |            |            |              |              |          |          |

| 評価指標             |                         | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                             | 実績値<br>H24 | 実績値<br>H25 | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値      |          |
|------------------|-------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|--------------|--------------|----------|----------|
|                  |                         |            |                                                                                                                                                                                                        |            |            |              |              | H27      | H32      |
| 市立美術館の利用者数(人/年度) |                         |            | 101,899人                                                                                                                                                                                               | 97,903人    | 91,715人    |              |              | 105,000人 | 110,000人 |
| 算出<br>方法         | 市立美術館の利用者総数(貸施設利用者数を含む) | 分析         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値は、基準年に比べ10,184人減り、前年度に比べ6,188人減った。</li> <li>●普及事業では増加しているが、展覧会事業と貸館事業では減少している。</li> <li>●貸施設の利用状況によるとともに、特別展の開催回数が基準年の6回から4回に減ったことも要因のひとつと考えられる。</li> </ul> |            |            |              |              |          |          |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策⑪-1 内外の優れた美術品にふれる機会の提供

| 区分 | 事業名        | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 展覧会事業      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外の優れた美術作品及び市立美術館が所蔵する美術作品を鑑賞する機会を広く市民に提供することで、美術に関する知識及び教養の向上に資することを目的に実施した。</li> <li>●「倉敷市立美術館開館30周年記念 倉敷仏教寺院の至宝」展など4回の特別展と、4回のコレクション展を開催した。(総観覧者数 30,373人)</li> <li>●より多くの市民に観覧していただけるよう企画内容を検討し、広報に力を入れ、継続して実施する。</li> </ul>          | 8,813       | 美術館 |
|    | 美術作品収集活動事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●郷土作家等の作品を収集することで、市民共通の文化的な財産である貴重な美術作品を次世代に伝えていくことを目的に実施した。</li> <li>●倉敷市出身の洋画家・寺松国太郎ら5作家の作品5件(すべて寄贈)を収集した。倉敷市出身の写真家・中村昭夫の代表作や洋画家・寺松国太郎が屏風に描いた貴重な作例の作品が収蔵でき、コレクションの充実につながった。</li> <li>●郷土作家の体系的なコレクションづくりを目指して作品調査を行い、継続して実施する。</li> </ul> | 695         | 美術館 |

### 施策⑪-2 市民が楽しみながら芸術活動を行える機会や場所の提供

| 区分 | 事業名         | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 美術館教育普及事業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多くの市民に美術に親しんでもらうため、制作体験や理論学習を行う機会を提供し、美術はもとより広く芸術の普及に努めることを目的に実施した。</li> <li>●初心者を対象とした実技講座を中心に7講座を各40回、美術に関する講演を行う美術教養講座を8回開催した。また、開館30周年を記念した「丹下健三建築・倉敷市立美術館を絵で飾ろう」などのワークショップを開催した。(総参加者数 6,837人)</li> <li>●平成25年度は開館30周年の関連事業で参加者が増加したが、今後も市民の参加意欲が高まるような内容の企画となるよう、継続して実施する。</li> </ul> | 2,935       | 美術館 |
|    | 倉敷っ子美術展開催事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次代を担う子どもたちの豊かな創造力と情操を養い、造形活動推進を支援するとともに、子どもたちの造形活動に対する市民の理解と認識を深めることを目的に実施した。</li> <li>●市内の小中学生の作品を展示する第28回倉敷っ子美術展(平成26年2月7日～23日)を開催した。(出品点数10,037点、観覧者数8,652人)</li> <li>●さらに多くの保護者や一般市民にも観覧していただけるよう広報に力を入れ、継続して実施する。</li> </ul>                                                           | 624         | 美術館 |

### 施策⑪-3 美術館に関する情報の発信

| 区分 | 事業名       | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                          | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 美術館広報活動事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●より多くの市民に美術館の展覧会や所蔵品についての情報を提供することを目的に実施した。</li> <li>●月1回催し物案内を作成・配布するほか、収蔵品の池田遙邨作「昭和東海道五十三次」を使用した平成26年美術館カレンダーを作成・販売した。</li> <li>●展覧会観覧者数の増加をめざし、市民に展覧会などの事業を広く周知できる効果的な方法を検討しながら、継続して実施する。</li> </ul> | 375         | 美術館 |

## 施策⑪-4 施設の整備と機能の充実

| 区分 | 事業名           | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                              | 決算額<br>(千円) | 所属  |
|----|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|
|    | 美術館・図書館施設整備事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●鑑賞、発表、創作など市民の芸術活動を支える場としての機能・設備を充実させ利用しやすい施設運営を目指して実施した。</li> <li>●3階ロビーに展示ケースを製作・設置し、長年、市民からの要望が高かった池田遙邨の常設展示コーナーを開設した。</li> <li>●美術団体などが作品発表の場として使用する、美術館第1展示室の壁面及びパネルの整備を行う。</li> </ul> | 3,906       | 美術館 |

## 基本施策⑪の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課題

- 美術館利用者数が全体的に減少傾向にある。
- 展覧会などの事業を市民に周知させる広報活動が十分にできていない。
- 郷土作家の優れた作品を収蔵し、体系的なコレクションを構築するためには、購入予算の確保が重要である。
- 開館から30年以上、建物の建築から50年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる。

### 今後の取組み方針

- 作家や作品の調査・研究をすすめ、所蔵作品の活用や他の施設との連携など、市民の関心やニーズをふまえた展覧会の企画・開催に努める。
- 展覧会案内などの送付先の見直しや、ホームページの充実を図るなど、タイムリーに情報を発信できるよう広報活動を強化する。
- 近世以降の美術を幅広いジャンルにわたって収集に努めるとともに、寄贈も積極的に働きかけていく。
- 講座やワークショップへの参加者を増やすために、市民にとって魅力あるプログラム作りに努める。
- 市民が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的に修繕を行う。

### 学識経験者の意見

- 展覧会事業として仏教美術の展覧会が企画された。各地域には倉敷の歴史由緒を物語る古代中世の寺院が数多くあり、倉敷市の魅力を再発見する良い企画となった。市内の寺院には今後、文化財指定の必要のあるものも多く、その助けとなった。利用者数の上下動は「一般受けのする企画かどうか」の影響もあり、ある程度は致し方ないと思われる。
- 展覧会の広報について、送付先の見直しは一考の価値があり評価できる。また市内各所の公共施設に案内のポスター・チラシを配置できる仕組みは従来からあり、これも評価できる。しかし配布物は飽和状態であり、今後は配置先での有効な掲示の仕方を工夫することが課題である。
- 郷土作家というと従来は造形や絵画をイメージしがちであったが、この度写真家中村昭夫の作品を収蔵できたことを高く評価する。写真には時代の生活情報が記録されており、今後学術資料としての価値も高まることは間違いない。
- 市立美術館は丹下健三の設計による歴史的な名建築であり、市庁舎時代から倉敷市民の誇りであったので安全性を配慮した上で保存を図りたい。

## 基本施策⑫

### くらしき文化の保存・継承と活用を図る

#### 担当部署

文化財保護課, 埋蔵文化財センター

#### 施策に対する考え方

市内には、全国に誇れる伝統的建造物群をはじめとする歴史遺産や歴史的町並み、史跡などの文化財があります。

これらは、本市の歴史、伝統、文化を理解する上で、欠くことのできない貴重な資産であり、市民共有の財産として次世代に継承するため、適切な保存と活用に努めます。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                                                                                                                                                          | 目指す<br>方向性                                                                         | 基準値<br>H21        | 実績値<br>H24        | 実績値<br>H25         | 基準値か<br>らの傾向                                                                         | H24<br>からの傾向                                                                         | 目標値<br>H27 H32 |      |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがある人の割合 |                                                                                                                                                                                                          |  | 51.3 %<br>(n=335) | 42.5 %<br>(n=153) | 59.7 %<br>(n=1766) |  |  | 62 %           | 72 % |
| 算出<br>方法                     | <p>就学前児童を持つ保護者、小学生を持つ保護者へのアンケート調査で、「子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがありますか。」という設問に対して『ある』と回答した人の割合。</p> <p>※H24までは、市民アンケート調査における属性で、就学前または小学生を養育している人で、「子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがありますか。」という設問に対して、『ある』と回答した人の割合。</p>   |                                                                                    |                   |                   |                    |                                                                                      |                                                                                      |                |      |
|                              | <p>分析</p> <p>●実績値は、基準年に比べ、8.4ポイント上がり、前年度に比べ、17.2ポイント上がった。</p> <p>●就学前児童の保護者のうち『ある』と回答した人は49.2%、小学生の保護者のうち『ある』と回答した人は70.7%となっている。</p> <p>●就学前児童をもつ保護者より小学生を持つ保護者のほうが、子どもと一緒に地域の伝統行事に参加する機会が多いものと思われる。</p> |                                                                                    |                   |                   |                    |                                                                                      |                                                                                      |                |      |

| 評価指標(総合計画 指標)                         |                                                                                                                                            | 目指す<br>方向性                                                                          | 基準値<br>H21          | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向                                                                          | H24<br>からの傾向                                                                          | 目標値<br>H27 H32 |      |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 後世に伝えたいと思うくらしき文化が大切に継承されていると思っている人の割合 |                                                                                                                                            |  | 56.3 %<br>(n=1,653) | 56.3 %<br>(n=1,024) | 61.3 %<br>(n=824) |  |  | 64 %           | 73 % |
| 算出<br>方法                              | <p>市民アンケート調査で「後世に伝えたいと思うくらしき文化が大切に継承されていると思いますか。」という設問に対して、『継承されていると思う』『いくらか継承されていると思う』と回答した人の割合。</p>                                      |                                                                                     |                     |                     |                   |                                                                                       |                                                                                       |                |      |
|                                       | <p>分析</p> <p>●実績値は、基準年に比べ、5ポイント上がり、前年度に比べ、5ポイント上がった。</p> <p>●「継承されている」と回答した人の割合は、年齢別では20歳代以上で約6割、地区別では庄・船穂地区ではやや低いが、その他の地域では約6割となっている。</p> |                                                                                     |                     |                     |                   |                                                                                       |                                                                                       |                |      |

## 施策を推進する主な事業の評価

### 施策⑫-1 文化財の適切な保存と活用, 継承

| 区分 | 事業名                  | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                               | 決算額<br>(千円) | 所属                 |
|----|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------|
|    | 国指定重要文化財 井上家住宅保存修理事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●国指定重要文化財である井上家住宅を全面改修し、保存を図る。</li> <li>●仮設・準備工事を行い、調査・設計及び解体修理工事を行った。</li> <li>●平成29年度まで継続して実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                | 9,000       | 文化財保護課             |
|    | 指定文化財保存事業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●指定史跡や重要文化財の保存修理に指導助言を行い、補助金を交付することで、文化財の適正な保存を図る。</li> <li>●県指定重要文化財「蓮台寺客殿・多宝塔」の防災設備の整備に補助金を交付し、文化財の保存に努めた。寄附を受けた国登録有形文化財の倉敷天文台スライディングルーフ観測室について、保存のための移設・復元を行った。市指定天然記念物「影向の松」「雨笠の松」「鳳凰の松」について、松くい虫及び葉ダニの予防を行い、害虫被害の防止に努めた。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 17,813      | 文化財保護課             |
|    | 埋蔵文化財保護事業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●埋蔵文化財を保護保存し後世に伝えることにより、郷土の歴史や文化財に対する市民の理解と認識を深めることを目的に実施した。</li> <li>●開発行為の内容に応じて、遺跡の確認調査を2件、立会調査を25件実施した。また、倉敷埋蔵文化財センター年報14を作成し、平成23・24年度における事業概要と成果について広く一般に公開した。</li> <li>●引き続き、開発行為の内容に応じた適切な発掘調査を実施するとともに、発掘調査の成果や業務の概要について、より広く一般に公開していく。</li> </ul>  | 1,651       | 埋蔵文化財 <sup>㊦</sup> |

※所属欄の㊦は「センター」の略 以下同じ

### 施策⑫-2 文化財に親しむ機会の充実

| 区分 | 事業名           | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額<br>(千円) | 所属     |
|----|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
|    | 文化財保護事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●王墓の丘史跡公園をはじめ、文化財や史跡の活用を図るため、草木の伐採や清掃などの環境整備を行う。また、文化財保護全般にわたる事業を行う。</li> <li>●国指定史跡「楯築遺跡」や県指定史跡「王墓山古墳」について、地元住民による草刈・清掃等を通じ、良好な環境維持と文化財保護意識の醸成に寄与した。王墓山古墳の階段手摺りの設置や楯築遺跡周辺遊歩道の陥没箇所を修復するなど、史跡公園の安全性の確保に努めた。史跡や建物等の文化財をPRし、また市民等が訪問しやすくなるよう、倉敷芸術科学大学と連携して製作したスマートフォンで閲覧できる文化財アプリの保守・更新を行った。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul> | 11,188      | 文化財保護課 |
|    | 歴史民俗資料館管理運営事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史民俗資料館3施設(倉敷、福田、真備)において、収集した郷土の歴史民俗資料を保存・展示し、市民の教養の向上、調査研究等に資する。</li> <li>●歴史民俗資料館(倉敷、福田、真備)において、収集した郷土の歴史民俗資料を保存、展示した。玉島市民交流センター玉島歴史民俗海洋資料室の展示を開始した。郷土の歴史資料の保管・展示を目的に、指定管理者に施設の管理運営を委託し実施している。毎年行うモニタリング調査結果では、来館者の満足度は高い。</li> <li>●継続して実施する。</li> </ul>                                                             | 5,745       | 文化財保護課 |

|  |             |                                                                                                                                                                                                                                   |     |         |
|--|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
|  | 埋蔵文化財教育普及事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●埋蔵文化財に係る知識の普及と出土文化財の活用を図ることにより、埋蔵文化財に対する市民の理解と認識を深めることを目的として実施した。</li> <li>●埋蔵文化財や歴史、考古学に関する講座やイベントを延べ26回実施し、合計3,146人の参加があった。</li> <li>●今後も次代を担う子どもたちを対象とした体験講座やイベントの充実を図っていく。</li> </ul> | 877 | 埋蔵文化財 ㊦ |
|--|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|

## 基本施策⑫の「課題」「今後の取組み方針」「学識経験者の意見」

### 課 題

- 今年度の刊行で市内全域がカバーできる遺跡地図について、より多くの人が活用できるよう、倉敷市統合型GISにおける公開を検討していく必要がある。
- 埋蔵文化財に関する講座について、受講生の固定化をなるべく少なくするため、内容や広報の仕方について継続的に見直しを行っていくことが必要である。
- 指定文化財をはじめ、地域に根差した貴重な文化財を、市民がより身近に感じ理解できるよう、文化財に関する情報発信に工夫が必要である。

### 今後の取組み方針

- 遺跡地図のGIS化について、先行する岡山県教育委員会と協議を行いながら、公開までの作業スケジュールを作成する。
- 出前講座を含め実施するすべての講座でアンケート調査を行うなど、市民ニーズの収集と分析を積極的に進める。
- 重要文化財の一般公開に向け、保存・活用委員会を設置するなどして、今後の利活用のあり方を検討する。
- 補助制度の活用による重要文化財の保存修理や、史跡の環境整備に取り組む等、文化財の適切な保存と活用、継承に取り組む。
- 郷土の歴史資料、文化財を適切に保存し、展示、講座、イベント等で市民が文化財に親しむ機会を充実する。

### 学識経験者の意見

- 民間初の天文台である倉敷天文台のスライディングルーフ観測室の保存を行ったことは高く評価できる。倉敷天文台の本田実氏は彗星観測で倉敷の名声を高めた。文化財というと古いもののばかりが目されるが、近現代の文化財の研究を進めて市民に広報することも重要と考える。
- 歴史や文化に対する市民の関心は高いが、講座等の受講者は大人中心であり、次世代を担う小・中学生の社会教育が課題である。例えば人気の高い講座で抽選になった場合など、子どもが抽選からもらえない様な配慮が必要と思われる。
- 遺跡地図のGIS化により例えばスマートフォンひとつで誰でも埋蔵文化財に迷うことなくたどり着くことができるようになることなどが評価できるが、その反面、遺跡パトロールなどの保護対策も必要になる。

## 基本施策⑬

### 魅力的で、風格ある景観の形成を推進する

#### 担当部署

文化財保護課

#### 施策に対する考え方

先人たちの努力によって守られてきた建造物や町並みなどの歴史的文化的景観を保全し、未来に受け継いでいくことは、現代を生きる私たちにとって重要な責務です。  
景観づくりに関する市民や事業者の意識の向上を図るとともに、市民団体の育成やその活動を支援し、風格のある景観の形成を推進します。

#### 数値目標

| 倉敷市教育振興基本計画<br>評価指標(総合計画 指標) |                                                                                 | 目指す<br>方向性 | 基準値<br>H21                                                                                                                                                                                                                   | 実績値<br>H24          | 実績値<br>H25        | 基準値か<br>らの傾向 | H24<br>からの傾向 | 目標値  |      |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------------|--------------|--------------|------|------|
|                              |                                                                                 |            |                                                                                                                                                                                                                              |                     |                   |              |              | H27  | H32  |
| 歴史的な景観が保全されていると感じて<br>いる人の割合 |                                                                                 |            | 45.8 %<br>(n=1,653)                                                                                                                                                                                                          | 44.4 %<br>(n=1,024) | 48.2 %<br>(n=824) |              |              | 54 % | 65 % |
| 算出<br>方法                     | 市民アンケート調査で「市内では、歴史的な<br>景観が保全されていると感じていますか。」と<br>いう設問に対して、『感じている』と回答した<br>人の割合。 | 分析         | <p>●実績値は、基準年に比べ、2.4ポイント上がり、前年度に比べ、3.8ポイント上がった。</p> <p>●町並み保存地区のある倉敷・児島・玉島地域の実績値について、「感じている」と回答した人の割合が、倉敷地域(60.2%)に比べ、児島、玉島の各地域では、21%～28%低くなっている。</p> <p>●この地域差は、町並み保存地区の建造物の修理件数が、倉敷地域と比べ、児島、玉島では少ないことが影響しているのではないと思われる。</p> |                     |                   |              |              |      |      |

### 施策を推進する主な事業の評価

#### 施策⑬-1 伝統的建造物群保存地区の景観保全

| 区分 | 事業名             | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                                     | 決算額<br>(千円) | 所属     |
|----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
|    | 伝統的建造物群<br>保存事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統的建造物群保存地区内の建物の修理修景に対し助成することで、伝統的建造物群保存地区の景観に配慮された修理となるようにするもの。</li> <li>●伝統的建造物群保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる7件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。</li> <li>●歴史的な町並み保存に一定の効果をあげていると考えており、継続して実施する。</li> </ul> | 45,228      | 文化財保護課 |
|    | 伝統美観地区修<br>景事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統美観保存地区内の建物の修理修景に対し助成することで、伝統美観地区の景観に配慮された修理となるようにするもの。</li> <li>●伝統美観保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる1件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。</li> <li>●歴史的な町並み保存に一定の効果をあげていると考えており、継続して実施する。</li> </ul>            | 4,000       | 文化財保護課 |

## 施策⑬-2 地区の特性を活かした歴史的景観の維持向上

| 区分 | 事業名     | 目的／平成25年度の主な実績／今後の方向性                                                                                                                                                                                                            | 決算額<br>(千円) | 所属     |
|----|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
|    | 町並み保存事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●町並み保存地区内の建物の修理修景に対し助成することで、町並み保存地区の景観に配慮された修理となるようにするもの。</li> <li>●玉島の町並み保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる2件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。</li> <li>●歴史的な町並み保存に一定の効果をあげていると考えており、継続して実施する。</li> </ul> | 6,845       | 文化財保護課 |

## 基本施策⑬の「課題」「今後の取り組み方針」「学識経験者の意見」

### 課題

- 先人たちの努力によって守られてきた建造物や町並みなどの歴史的文化的景観を保全していくことの重要性を啓発しつつ、補助制度の活用などにより地区の特性を活かした歴史的景観の維持向上に継続して努めていく必要がある。
- 空き家となった古民家の利活用を図るため、NPOなど民間団体と協力しながら活性化に努める必要がある。
- 重伝建地区内の伝統的建造物の耐震性能を向上させるため、耐震化の必要性や補助制度の周知を図る必要がある。
- 児島・玉島の町並み保存地区について、補助制度が活用されず、昔ながらの町並みの保存が厳しい状況にある。

### 今後の取り組み方針

- 全解体修理を行っている国指定井上家住宅の改修後の活用について、歴史的建造物と当時の人々の暮らしぶりを踏まえながら賑わいが醸成されるよう、所有者等と一体となって計画を策定する。
- 古民家の利活用を図るため、空き家の修理事業を推進するとともに、民間のまちづくり団体等との連携を更に深めていく。
- 民間団体と協力して、伝建地区内で防災フォーラムを開催し、耐震化の必要性について啓発していく。
- 児島・玉島の町並み保存地区について、地域住民の関心を高めながら、修理修景の補助制度をPRする。

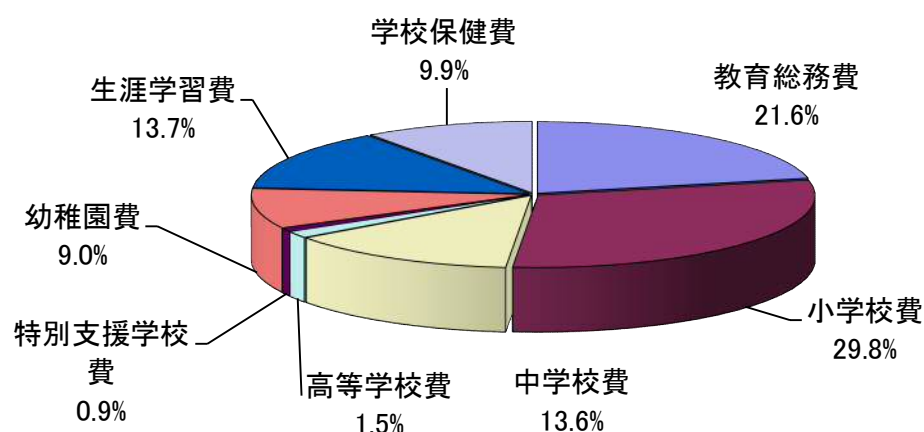
### 学識経験者の意見

- 「歴史的景観の保存度」に関する児島・玉島地域の依然とした数字の低さが指摘されている。「景観とは人の心の中にある」と言われようと、倉敷美観地区のような象徴的存在がないためとも思われる。児島には下津井地区の総延長2キロに及ぶ江戸時代の漁港・商港・城下の町並み、玉島には江戸時代の干拓締切り大堤防の上に形成された町並みである新町通りなど誇るべき歴史的景観があるので、今後は学問的評価にもとづいた地区民の意識の向上や誇りの形成が期待される。
- 伝統的建造物に関して従来は外観的修理が着目されてきた。今後は内的構造に着目して耐震化の啓発など安全性の面からも取り組む計画を進めていることは評価できる。

### 3 教育費決算額

#### (1) 平成25年度教育費決算見込額内訳

| 項       | 金額（千円）     | 対前年度比較増減<br>（千円） | 対前年度<br>伸び率 |
|---------|------------|------------------|-------------|
| 教育総務費   | 3,474,223  | -247,237         | -6.6%       |
| 小学校費    | 4,795,517  | 845,736          | 21.4%       |
| 中学校費    | 2,177,691  | -92,403          | -4.1%       |
| 高等学校費   | 240,744    | 17,596           | 7.9%        |
| 特別支援学校費 | 138,449    | -110,243         | -44.3%      |
| 幼稚園費    | 1,439,663  | -13,215          | -0.9%       |
| 生涯学習費   | 2,206,467  | 9,595            | 0.4%        |
| 学校保健費   | 1,596,208  | 10,796           | 0.7%        |
| 計       | 16,068,962 | 420,625          | 2.7%        |



#### (2) 教育費決算額の推移

単位（千円）

|         | 平成21年度     | 平成22年度     | 平成23年度     | 平成24年度     | 平成25年度     |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 教育総務費   | 3,175,452  | 3,057,294  | 3,595,793  | 3,721,460  | 3,474,223  |
| 小学校費    | 3,278,239  | 4,219,336  | 4,262,886  | 3,949,781  | 4,795,517  |
| 中学校費    | 1,780,964  | 2,365,063  | 1,894,442  | 2,270,094  | 2,177,691  |
| 高等学校費   | 266,036    | 250,929    | 234,121    | 223,148    | 240,744    |
| 特別支援学校費 | 154,042    | 142,219    | 529,366    | 248,692    | 138,449    |
| 幼稚園費    | 1,566,757  | 1,426,457  | 1,457,499  | 1,452,878  | 1,439,663  |
| 生涯学習費   | 2,559,244  | 2,488,459  | 2,336,178  | 2,196,872  | 2,206,467  |
| 学校保健費   | 1,724,140  | 1,710,544  | 1,705,146  | 1,585,412  | 1,596,208  |
| 計       | 14,504,874 | 15,660,301 | 16,015,431 | 15,648,337 | 16,068,962 |

25年度は見込額